



取扱説明書

DVA-7899J

DVDヘッドユニット



お問い合わせはインフォメーションセンターへ

- 〒141-8501 東京都品川区西五反田1丁目1番8号
- FAX : 03-3494-1767 Phone : 03-3779-0711
- 電話受付時間 土日祝日を除く 9:30~17:30
- 電話は混雑が予想されます。FAXかハガキをおすすめします。
- アルパインホームページ : <http://www.alpine.co.jp>

アルパイン株式会社

Designed by ALPINE Japan
Printed in Japan (S-474)
68P50520Y49-A

安全にお使いいただくために

- ご使用の前に、この説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになった後も、説明書を手元に置いてご使用ください。説明書の指示を守らなかったことによる不具合に対して、当社は責任を負いかねます。
- この説明書は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

分解・改造をしないでください。事故・火災・感電の原因になります。



電池・ネジなどの小物類は、幼児の手の届かないところに保管してください。飲み込んだ場合には、ただちに医師と相談してください。



ヒューズ交換は、規定容量（アンペア数）を守ってください。事故・火災の原因になります。



DC12Vマイナスアース車以外に接続しないでください。事故・火災の原因になります。



配線作業の前にはバッテリーのマイナス端子からアース線を外して、配線作業をしてください。感電・ケガの原因になります。



コードの被覆を切って、他の機器の電源を取らないでください。火災・感電の原因になります。



前方の視界を妨げる場所、ハンドル・変速レバーなど運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には、取り付けしないでください。事故・ケガの原因になります。



取り付け・アース接続には、ハンドル・ブレーキ・タンクなどのボルトやナットを使わないでください。制動不能・火災の原因になります。



音や画面が出ない、異物が入った、煙が出る、変な臭いがしたときには、ただちに使用を中止して、お買い上げ店に相談してください。事故・火災・感電の原因になります。



運転中は操作をしたり、画面を見たりしないでください。事故・ケガの原因になります。操作や画面を見る場合には、安全な場所に停車してください。



コード類は運転操作の妨げとならないように束ねてください。ハンドル・変速レバー・ブレーキペダルなどに巻き付くと、事故・故障の原因になります。



車体に穴を開ける場合には、パイプ・タンク・電気配線などを傷つけないでください。事故・火災の原因になります。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

説明書に従って、正しく接続してください。火災・事故の原因になります。



コードをシートレールにはさんだり、突起部に当てたりしないでください。断線やショートにより、感電・火災の原因になります。



通風孔・放熱板をふさがないでください。火災・故障の原因になります。



付属部品を指定通りに使い、しっかりと取り付けてください。事故・故障の原因になります。



水のかかるところ、湿気やホコリの多いところには取り付けしないでください。火災・故障の原因になります。



新旧の電池を混ぜる、指定外の電池を使用する、極性を間違えるなど、しないでください。電池の破裂・液漏れや火災・ケガの原因になります。



取り付け・配線には、専門技術と経験が必要です。お買い上げ店に依頼してください。



車外の音が聞こえる音量でお使いください。事故・故障の原因になります。



車以外には使わないでください。感電・ケガの原因になります。



禁止

ディスク挿入口や可動ディスプレイのすきまには、指や異物を入れないでください。ケガ・故障の原因になります。



禁止

取り扱い上のご注意（共通）

本機の近くでは携帯電話や無線機を使わない

雑音や誤動作の原因になる場合があります。電話や無線機は、本機から離れてご使用になることをお勧めします。

また、リモコンスターターも誤動作の原因になる場合があります。

無理な力を加えない

製品は、精密な部品を用いて精密に組み立てられています。初期の性能を維持するためにやさしく丁寧な取り扱いをお願いいたします。

本機は国内で使う

本機は国内でのみお使いいただけます。外国ではお使いになれません。

お手入れは乾いた布を使う

お手入れは乾いた布か堅く絞った布で拭いてください。ベンジンやシンナーなどの化学薬品は絶対に使わないでください。

極端な温度では使わない

車内の温度が極端に高い（炎天下駐車）ときや低い（厳冬期駐車）ときは、常温になってからお使いください。

結露にご注意

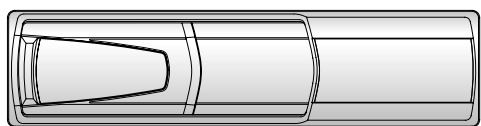
寒い車内を急に暖めると、信号読み取り装置のレンズに露がつき誤動作の原因になります。このようなときは、一時間ほどディスクを取り出しておくで正常に動作します。

音飛びについて

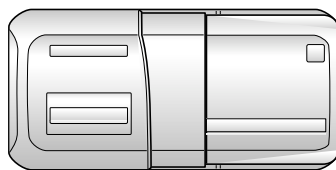
路面状況の悪いところを走行しているときに音飛びを起こすことがあります。プレーヤーには影響ありません。

車のサスペンションを通常より硬めにしていたり、サスペンションが壊れている場合は、音飛びする頻度が高くなります。

CDも、MDも、お気に入りのアルバムは、アルパインのチェンジャーにスタンバイ！！



CD CHANGER CHA-S634



MD CHANGER MHA-S670

車室内にもセットできる超小型サイズのCD 6枚チェンジャーが、CD-R/CD-RWの再生、さらにMP3再生にも対応して新登場。人気のMDソースが思う存分楽しめるMDチェンジャーも、大ブレイク。車室内で“いい音”を楽しむ技術にかけては最先端のアルパイン。そのヘッドユニットをセンターに、車や聴きたいソースにあわせて高音質チェンジャーを拡張装備すれば、もっと“いい音”に抱かれる快適ドライブが実現。アルパインのチェンジャーにプラスして、あなたも、感動のノンストップデジタルパワープレイを、どうぞこころゆくまで！

本機で再生できるディスクについて

●再生できるディスク

本機では次のディスクが再生できます。

	マーク (ロゴ)	記録内容	ディスクの大きさ	最長再生時間
DVD ビデオ		音声 + 映像 (動画)	12 cm*	片面ディスク 約4時間
				両面ディスク 約8時間
			8 cm	片面ディスク 約80分
				両面ディスク 約160分
ビデオ CD		音声 + 映像 (動画)	12 cm	約74分
			8 cm	約20分
音楽 CD		音声	12 cm	約74分
			8 cm (CDシングル)	約20分

*DVD二層ディスクに対応しています。

●再生できないディスク

DVD-ROM、DVD-R/DVD-RAM、DVD-RW、DVD+RW、CD-ROM (MP3ファイルを除く)、フォトCDなど。

本機は音楽専用のCD-R (CD-Recordable) /CD-RW (CD-ReWritable)、MP3ファイル形式のCD-R/CD-RWの再生が可能です。

次のようなディスクは、再生できないことがあります。
指紋やキズが付いている／車内や製品内に長時間放置した／データ書き込み状態が不安定／データ書き込みに失敗し再録音した場合など。

MP3ファイルはISO9660レベル1またはレベル2フォーマットで記憶したディスクを使用してください。詳しくは54ページを参照してください。

●コンパクトディスク (CD/CD-R/CD-RW) の取り扱い

故障や動作不良を起こさないために次の点を守ってお使いください。

盤面にさわらない／直射日光下に置かない／ラベルを貼ったり文字を書いたりしない／ホコリやごみが付いたら拭きとる／バリが無いことを確認する／市販のアクセサリーを使わない。

特にCD-R/CD-RWは以下の点について十分に注意してください。

車内や製品内に長時間放置しない。特に直射日光下には絶対放置しない。高音多湿の環境に弱いため、ディスクが劣化し再生不能となる場合があります。

●CD-R/CD-RWをご使用のお客様へ

- ・CD-R/CD-RWが再生できない場合は、クローズセッション (ファイナライズ処理) を行っているかどうか、確認してください。
- ・行われていない場合は、クローズセッション (ファイナライズ処理) を行い、再度、お試しください。

●DVDリージョン番号 (再生可能な地域番号) について

このDVDヘッドユニットのリージョン番号は2です。DVDビデオディスクに表示されている地域番号が下記のようなリージョン番号を含んでいないまたは、が表示されていないディスクは再生できません。



●ビデオCDについて

本機は、プレイバックコントロール (PBC) 付き対応ビデオCD (バージョン2.0) に対応しています。

PBCとはディスクに記録されているメニュー画面を見ながら、見たい画面や情報を対話形式で楽しむことができることを言います。

●ディスクに関する用語について

タイトル

DVDビデオディスクに記録されている映像や曲などを区切るいちばん大きな単位です。

チャプター

タイトルの内容を場面や曲ごとにさらに小さく区切った単位です。

※ 本機は、マクロビジョンコーポレーションやその他の権利者が保有する、米国特許及びその他の知的所有権によって保護された著作権保護技術を搭載しています。この著作権保護技術の使用にはマクロビジョンコーポレーションの許諾が必要であり、マクロビジョンコーポレーションが特別に許諾する場合を除いては、一般家庭その他における限られた視聴用以外に使用してはならないこととされています。改造または分解は禁止されています。

※ ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。DOLBY、ドルビー、PRO LOGICおよびダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
非公開機密著作物。著作権1992-1997年
ドルビーラボラトリーズ。不許複製。

※ DTSは米国Digital Theater System, Inc.の登録商標です。

目次

安全にお使いいただくために

警告／注意	2
本機で再生できるディスクについて	4
目次	5



基本操作

リセットする	6
電源のON/OFF	6
ディスプレイの角度調整	6
ディスプレイの開閉	7
音量／バランス／フェーダー／ディフュートの調整	7
セットアップ(SETUP)について	7

CD操作

CD（ディスク）を聴く	8
曲のイントロだけを聴く SCAN（スキャン）	8
曲順を変えて聴く M.I.X.（ミックス）	9
繰り返し聴く REPEAT（リピート）	9

MP3操作

MP3を聴く	10
フォルダを選択する	10
ファイルサーチ	11
MP3選曲範囲の設定	11
MP3再生データの設定	11
曲のイントロだけを聴く SCAN（スキャン）	12
曲順を変えて聴く M.I.X.（ミックス）	12
繰り返し聴く REPEAT（リピート）	12

チェンジャー操作

チェンジャーでMD/CDを聴く	13
-----------------	----

ラジオ操作

ラジオを聴く	14
放送局を記憶する	14
自動的に放送局を記憶する	14
記憶した放送局を受信する	15
道路交通情報を受信する TRF（トラフィックインフォメーション）	15

タイトル／テキスト操作

タイトル／テキスト／スクロールとは	16
タイトル／テキストを表示する	16
タイトルをつける	17
スクロールの設定	17
記憶したタイトルを消す	17

サウンド調整

MXモードの設定	18
レベルインジケーター表示パターンの切り替え	18
タイムコレクション（時間補正）について	19
Bass Focusの設定	20
タイムコレクションの調整	20
X-OVERの設定	21
低音を強調する（バスセンター周波数）	21
高音を強調する（トレブルセンター周波数）	21

便利な機能

ミュートのON/OFF	22
クイックサーチ	22
操作音の切り替え	22
TUNER（FM）音質の設定	22
バックライトをOFFにする（BLACK OUT機能）	23
オーディオディスプレイの明るさ調整	23
オーディオディスプレイの濃淡調整	23
時刻を設定する	23
時刻を表示する	23

拡張ユニット操作

サブウーハーを接続する	24
デジタルアウトの設定	24
外部オーディオプロセッサの 光デジタル入力切り替え設定	24
外部入力の設定	25
外部入力の設定 （Versatile Link Terminal（KCA-410C）接続時）	25
外部割り込みモードの設定	26
外部割り込み時のディフュート設定	26
TV（Ai-NET対応TV接続時）を操作する	27

DVD／ビデオCD操作

DVD／ビデオCDを再生する	28
再生中止（PRE-STOP）	29
再生停止	29
早送り／早戻し	29
チャプター／トラックの頭出し	29
静止（一時停止）する	30
コマ送り再生	30
スローモーション再生	30
タイトル番号で頭出し	30
チャプター／トラック番号で直接頭出し	31
チャプター／トラック／タイトルリピート再生	31
音声言語切り替え	32
アングル切り替え	32
サブタイトル（字幕言語）切り替え	32
ディスクの使用状態を表示する／設定を変更する	33
リアDVD機能	34
リモコン受光部切り替え	34

DVDの初期設定（SETUP）

言語設定を変更する	35
TVスクリーン設定を変更する	36
カントリーコード設定を変更する	36
視聴規制（パレンタルロック）を設定する	37
ダウンサンプリングの設定を変更する	38
デジタル出力設定を変更する	38

本体ノーズスイッチからDVD／ビデオCDを操作する	40
---------------------------	----

リモコン操作

使用時のご注意／電池を入れる	41
別売のナビゲーション／TVモニターを操作する	41
本機のオーディオを操作する	42
別売のDVDプレイヤー／DVDチェンジャーを操作する	43



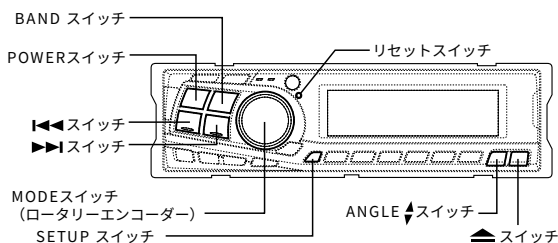
取り付けと接続 44

その他

用語解説	50
Q&A	51
言語コード表	52
DVDについて	53
MP3について	54
故障かな？と思ったら	55
規格	57
保証について	57
お問い合わせ窓口	58



基本操作



基本操作

本機は本体スイッチ、添付リモコンの両方から操作（一部除く）することができます。オーディオ操作部（DVD/ビデオCD操作以外）では、本体スイッチからの操作をメインに説明致します。添付リモコンからの操作については、42ページをご覧ください。



リセットする

初めて使うときや、チェンジャー等を取り付けたり車のバッテリーを交換したときは、リセットしましょう。

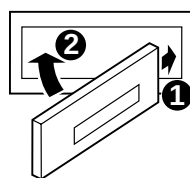
- 1 電源が切れているか確認する。入っている場合には、「POWER」を3秒以上押して、電源を切る。
- 2 リセットスイッチをペン先などで押す。



● リセットすると、時刻など記憶した内容が消去されます。もう一度、登録し直してください。

● フロントパネルは取り外さないでください。取り外してしまったら、次の方法でもとに戻してください。

- ① 右端の角へパネルを斜めに合わせる。
- ② 右側を押さえながら、左端をまっすぐ、そのままゆっくりカチッと音がするまで押し込む。



- 取り外したパネル（特に裏側端子部）が暖かくなっている場合でも故障ではありません。
- 取り外したパネルを取り付ける前にコネクター端子に汚れやほこりがないこと、取り外したパネルとメインユニットの間に異物がないことを確認してください。

電源のON/OFF

- 1 イグニッションキー（エンジンキー）をACCまたはONにする。
- 2 「POWER」を押す。
電源が入る。
- 3 電源を切るときは、「POWER」を3秒以上押す。

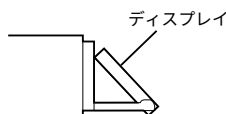


● 電源は「▲」、「▲▼」、「CLK」以外のどのスイッチを押しても入ります。また、ディスクを挿入すれば電源が入ります。

ディスプレイの角度調整

ディスプレイを見やすい角度（3段階）に調整することができます。

- 1 「ANGLE ▲▼」を押して希望の角度に調整する。
調整したディスプレイの角度はそのまま記憶される。

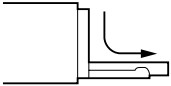


ディスプレイの開閉

イグニッションキーをONにするだけで、操作することができます。

1 「▲」を押す。

ディスプレイが開く。



(ディスプレイが開ききった状態)

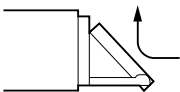
2 開いたディスプレイを戻すには、「▲」を押す。

・角度調整あり

ディスプレイは記憶された角度になる。

・角度調整なし

ディスプレイは全閉する。



- ディスプレイが開ききった状態では、「▲」以外、操作できません。
- 本機の電源がONのとき、開ききった状態で30秒間たつと、警告ブザーが鳴ります。
- ディスプレイが全開の時にイグニッションキーをOFFにしてからしばらくすると、ディスプレイは全閉します。但し、ディスプレイの角度が記憶された状態では全閉しません。

2 5秒以内に「MODE」(ロータリーエンコーダー)を回転させて、好みのレベルに調整または設定する。



- SUB-W (サブウーハー) が「OFF」に設定されている場合は、SUB-Wのレベル調整は行えません。(24ページ参照)
また「LINK」に設定し、リアDVD機能(34ページ)をONにした状態でも、SUB-Wのレベル調整は行えません。
- モードを選択して5秒間操作を行わなかった場合、調整モードは解除されます。
- 使用環境によっては、一時的に音量が下がる場合がありますが故障ではありません。
- 製品を長い時間使用していると、製品は徐々に熱くなってきます。温度上昇は異常ではありませんが、煙が出たり変な臭いがした場合は直ちに使用を中止し、お買い上げ店または、サービスセンターにご相談ください。

セットアップ (SETUP) について

本機には、さまざまなセットアップ (SETUP) 機能が用意されています。例えば、スイッチを押したときに操作音を鳴らして、操作を受け付けたことを伝える「BEEP」のON/OFFなど、自分好みの設定に変更することができます。

1 「SETUP」を3秒以上押す。

2 「◀◀」または「▶▶」を押して、各設定モードを選ぶ。

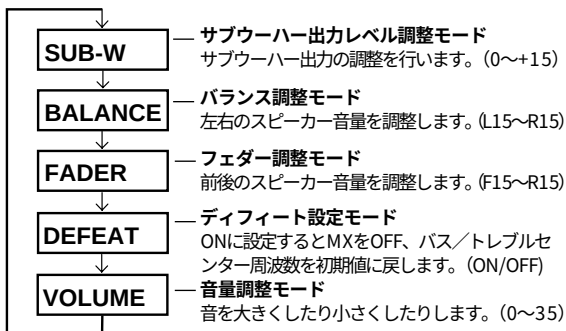
3 「BAND」を押して、設定を行う。

4 設定が終了したら「SETUP」を押す。

通常モードに戻ります。

音量/バランス/フェダー/ディフートの調整

1 「MODE」を押して調整したいモードを選ぶ。

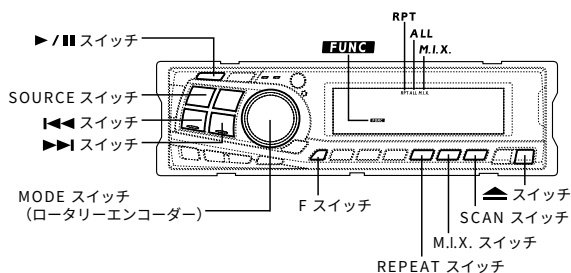


設定項目	参照ページ	DVA-7899J
TUNER (FM) 音質の設定	22	NORMAL/Hi-Fi/STABLE
オーディオディスプレイ明るさ調整	23	DIM AUTO/MANUAL
サブウーハーを接続する	24	SUB-W ON/OFF
操作音の切り替え	22	BEEP ON/OFF
外部割り込みモードの設定	26	MUTE ON/OFF
スクロールの設定	17	SCR AUTO/MANUAL
外部入力の設定	25	AUX ON/OFF
MP3選曲範囲の設定	11	DISC ALL/FOLDER
MP3再生データの設定	11	Mix Disc CD/Mix Disc MP3
外部割り込み時のディフート設定	26	INT ON/OFF
デジタルアウトの設定	24	OPTOUT ON/OFF
外部オーディオプロセッサの光デジタル入力切り替え設定	24	APRC OTHER/APRC H510
オーディオディスプレイ濃淡調整	23	CONTRAST±0
デモのON/OFF	26	DEMO ON/OFF

太字部分が工場出荷時の設定ポジションです。



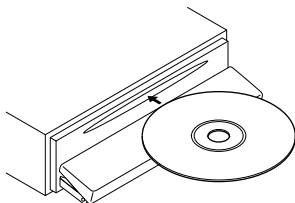
- リモコンスイッチの「SETUP」からは、上記のSETUP機能の操作はできません。



CD操作

CD (ディスク) を聴く

- 1 「△」を押して、ディスプレイを開く。
- 2 ディスクを挿入する。
ディスプレイが閉まり演奏がはじまる。
＜挿入時の注意＞
●ラベル面を上にする。



- すでにディスクが入っているときは、「SOURCE」を押して、CD (DISC) モードにすると演奏がはじまります。

→ TUNER → CD(DISC) → CHANGER ※
(※チェンジャー接続時のみ)

- シングルCD (8cm CD) はそのまま使用できますので、アダプター無しで挿入してください。
- ディスクによっては、演奏が始まるまで時間がかかる場合があります。

- 3 「MODE」(ロータリーエンコーダー) を回転させて、音量 (0～35) を調整する。

- 4 「<<<」または「>>>」を押して、聴きたい曲を選ぶ。

- 演奏中の曲の頭出し …「<<<」を押す。
- 早戻し ……………「<<<」を押し続ける。

- 次の曲の頭出し ……………「>>>」を押す。
- 早送り ……………「>>>」を押し続ける。

T-04 → T-05

- 5 演奏を一時停止するときは、「>|||」を押す。
再度「>|||」を押すと、演奏が再開する。
- 6 ディスクを取り出すときは、「△」を押す。
ディスクは必ず取り出す。
- 7 開いたディスプレイを戻すには「△」を押す。



- ディスプレイが開いた状態で30秒間たつと、警告ブザーが鳴ります。

曲のイントロだけを聴く SCAN (スキャン)

曲のイントロ部分を聴いて、聴きたい曲を探すことができます。

- 1 「SCAN」を押す。
曲が約10秒間ずつ演奏される。

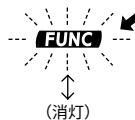
SCAN

- 2 聴きたい曲が見つかったら再度「SCAN」を押す。
その曲の演奏を続ける。

- チェンジャーモードのとき、
曲のイントロだけを聴く／繰り返し聴く／
曲順を変えて聴く

上記機能をお使いの場合は、次のように
＜FUNCインジケーター＞を点灯させてから、5
秒以内に各操作手順で行ってください。

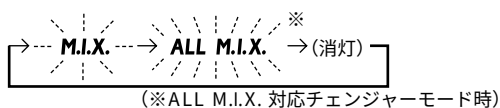
- 1 「F」を押す。



曲順を変えて聴く M.I.X. (ミックス)

曲を順不同に演奏させることができます。

- 1 「M.I.X.」を押して、＜M.I.X.インジケーター＞を点灯させる。
順不同に曲を演奏する。



- 2 解除するには、再度「M.I.X.」を押す。



●チェンジャー接続時

- ・「M.I.X.」を指定すれば、ディスクの曲を順不同に全曲演奏し、次のディスクへと移動していきます。
 - ・「ALL M.I.X.」を指定すれば、1曲ずつディスクを変えながら演奏します。(ALL M.I.X. 対応チェンジャーのみ)
- M.I.X.演奏中に、1曲リピートはできません。

CD/DVD/ビデオCD/チェンジャーモード時に、「BAND」を押すと、ディスクモードが切りかわります。



繰り返し聴く REPEAT (リピート)

気に入った曲や覚えたい曲を繰り返し演奏させることができます。

- 1 演奏中に「REPEAT」を押して、＜RPTインジケーター＞を点灯させる。
選んだ曲を繰り返し演奏する。

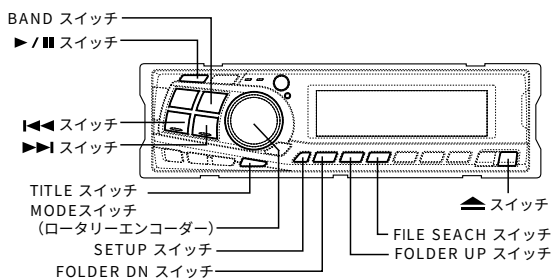


- 2 解除するには、再度「REPEAT」を押す。



●チェンジャー接続時

- 「RPT ALL」を指定すれば、そのディスクを繰り返し演奏させることができます。
- M.I.X.演奏中に、1曲リピートはできません。

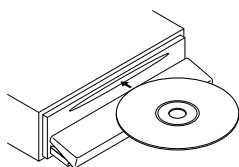


MP3操作

MP3を聴く

本機で再生できるMP3は、ISO9660 level1またはlevel2フォーマットで記録されたディスクのみです。詳しくは、「MP3について」(54ページ)を参照してください。

- 1 「△」を押して、ディスプレイを開く。
- 2 MP3ファイルが収録されたディスクを挿入する。
ディスプレイが閉まり、MP3ファイルを検索し、演奏がはじまる。
MP3インジケーターが点灯する。
MP3のディスクは、演奏が始まるまで時間がかかる場合があります。
<挿入時の注意>
●ラベル面を上にする。



- すでにディスクが入っているときは、「SOURCE」を押して、CD (DISC) モードにすると演奏がはじまります。

→ TUNER → CD(DISC) → CHANGER ※
(※チェンジャー接続時のみ)

- 3 「MODE」(ロータリーエンコーダー)を回転させて、音量(0~35)を調整する。

- 4 「<<<」または「>>>」を押して、聴きたい曲(ファイル)を選ぶ。

- 演奏中の曲の頭出し …「<<<」を押す。
- 早戻し ……………「<<<」を押し続ける。
- 次の曲の頭出し ……………「>>>」を押す。
- 早送り ……………「>>>」を押し続ける。

- 5 演奏を一時停止するときは、「>/||」を押す。
再度「>/||」を押すと、演奏が再開する。

- 6 ディスクを取り出すときは、「△」を押す。
ディスクは必ず取り出す。

- 7 開いたディスプレイを戻すには「△」を押す。



- ディスプレイが開いた状態で30秒間たつと、警告ブザーが鳴ります。
- MP3の演奏時に「TITLE」を押すと、ファイル名、フォルダ名、ID3タグなどを表示させることができます。
詳しくは、「タイトル/テキストを表示する」(16ページ)を参照してください。
- 本機はオーディオデータとMP3データが混在するディスクでも再生が可能です。
- CDオーディオデータ再生時のトラック表示はディスクに記憶されているトラック番号になります。

フォルダを選択する

- 1 「FOLDER DN」または「FOLDER UP」を押して、前後のフォルダを選ぶ。

ファイルサーチ

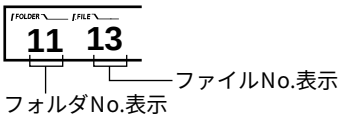
ディスク内全てのファイルを検索し演奏させることができます。

- 1 MP3演奏中に「FILE SEARCH」を押す。
ファイルサーチモードになる。
- 2 「MODE」(ロータリーエンコーダー)を回転させて、
演奏させたいファイルを選ぶ。
- 3 「MODE」を押す。
ファイルサーチモードが解除され、選んだファイルを
演奏する。



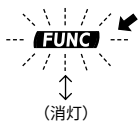
● 検索中に「FILE SEARCH」を押して、ファイルサーチモードを解除することもできます。

- フォルダNo.、ファイルNo.表示について
本機では、フォルダNo.、ファイルNo.は次のようにオーディオディスプレイに表示されます。



- MP3対応チェンジャーモードのとき、
フォルダを選択する/ファイルサーチ
上記機能をお使いの場合は、次のように
<FUNCインジケータ>を点灯させてから、5
秒以内に各操作手順で行ってください。

- 1 「F」を押す。



MP3選曲範囲の設定

MP3の選曲範囲を「ディスク全てを対象にするか」、「フォルダ内のみを対象にするか」を設定することができます。
MP3対応チェンジャーの場合は、SCAN/M.I.X./REPEAT
演奏時の選曲範囲設定となります。

- 1 「SETUP」を3秒以上押す。
- 2 「◀◀」または「▶▶」を押して、DISC (選曲範囲)
モードを選ぶ。

- 3 「BAND」を押してDISC選曲範囲を設定する。

DISC ALL ↔ FOLDER
(工場出荷時の設定)

DISC ALL :
ディスク内の全ての曲を対象に演奏する。

FOLDER :
選択した(再生している)フォルダ内のみの曲を対象
に演奏する。

- ・ MP3対応チェンジャーの場合、RPT ALL (12ページ参照)と組み合わせることで、フォルダ内のみの曲を対象に演奏する。

- 4 設定が終了したら「SETUP」を押す。
通常モードに戻る。



- この設定はディスクを挿入する前に行ってください。
既にディスクが挿入されているときは、下記のいずれかを行うと設定が確定されます。
・ 電源をOFFにする ・ ディスクイジェクト
・ ソースを切りかえる

MP3再生データの設定

(オーディオデータとMP3データ混在ディスク使用時のみ)

オーディオデータとMP3データ混在ディスクのオーディオデータ (Mix Disc CD) のみを再生するか、MP3 (Mix Disc MP3) のみを再生するかを設定することができます。

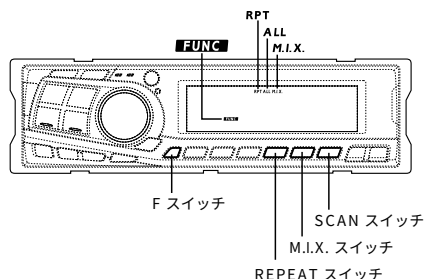
- 1 「SETUP」を3秒以上押す。
- 2 「◀◀」または「▶▶」を押して、Mix Disc CD モード
を選ぶ。
- 3 「BAND」を押してDISC選曲範囲を設定する。

MixDisc CD ↔ MixDisc MP3
(工場出荷時の設定)

- 4 設定が終了したら「SETUP」を押す。
通常モードに戻る。



- MP3対応チェンジャーの場合、オーディオデータとMP3の両方とも再生します。
- この設定はディスクを挿入する前に行ってください。
既にディスクが挿入されているときは、下記のいずれかを行うと設定が確定されます。
・ 電源をOFFにする ・ ディスクイジェクト
・ ソースを切りかえる



曲のイントロだけを聴く SCAN (スキャン)

曲のイントロ部分を聴いて、聴きたい曲を探すことができます。

- 1 「SCAN」を押す。
曲が約10秒間ずつ演奏される。

SCAN

- 2 聴きたい曲が見つかったら再度「SCAN」を押す。
その曲の演奏を続ける。

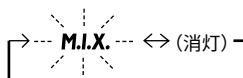


- 「MP3選曲範囲の設定」でFOLDER に設定している場合は、選んでいるフォルダ内の曲のみをSCANします。

曲順を変えて聴く M.I.X. (ミックス)

曲を順不同に演奏させることができます。

- 1 「M.I.X.」を押して、<M.I.X.インジケーター>を点灯させる。
順不同に曲を演奏する。



- 2 解除するには、再度「M.I.X.」を押す。



Memo

- チェンジャー接続時
 - ・「M.I.X.」を指定すれば、ディスクの曲を順不同に全曲演奏し、次のディスクへと移動していきます。
- M.I.X.演奏中に、1曲リピートはできません。
- 「MP3選曲範囲の設定」でFOLDER に設定している場合、選んでいるフォルダ内のみを対象にM.I.X.演奏します。

繰り返し聴く REPEAT (リピート)

気に入った曲や覚えたい曲を繰り返し演奏させることができます。

- 1 演奏中に「REPEAT」を押して、<RPTインジケーター>を点灯させる。
選んだ曲を繰り返し演奏する。



- 2 解除するには、再度「REPEAT」を押す。



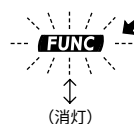
Memo

- チェンジャー接続時
 - 「RPT ALL」を指定すれば、そのディスクを繰り返し演奏させることができます。
- M.I.X.演奏中に、1曲リピートはできません。
- 「MP3選曲範囲の設定」でFOLDER に設定している場合のRPT ALLは、フォルダ内の曲のみを対象に繰り返し演奏されます。

- チェンジャーモードのとき、
曲のイントロだけを聴く／繰り返し聴く／
曲順を変えて聴く

上記機能をお使いの場合は、次のように<FUNCインジケーター>を点灯させてから、5秒以内に各操作手順で行ってください。

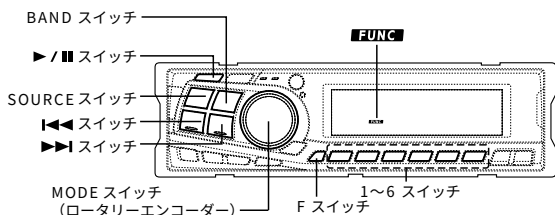
- 1 「F」を押す。



5 「MODE」(ロータリーエンコーダー)を回転させて、音量(0~35)を調整する。

6 演奏を一時停止するときは、「▶/■」を押す。

再度「▶/■」を押すと、演奏が再開する。

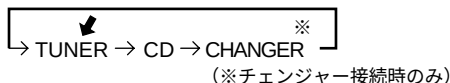


チェンジャー操作

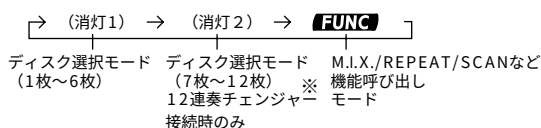
(チェンジャーを接続すると、本機から操作できます。)

チェンジャーでMD/CDを聴く

1 「SOURCE」を押して、CHANGERモードにする。



2 「F」を押して、ディスク選択モードを選ぶ。



※12連奏チェンジャー (CHA-1214/CHA-1204)は現在発売されていません。

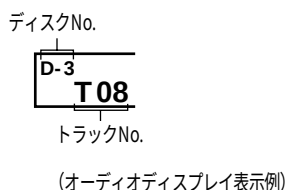
3 ディスクNo.を選ぶときは「1」~「6」のいずれかを押す。

消灯1: 「1」~「6」はディスクNo.1~6に相当する。

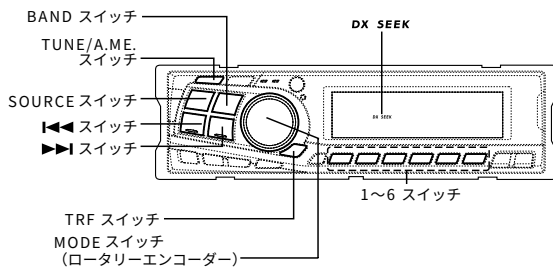
消灯2: 「1」~「6」はディスクNo.7~12に相当する。

ディスクNo.のインジケータは“D”から“d”へかわります。

4 「◀◀」または「▶▶」を押して、聴きたい曲を選ぶ。



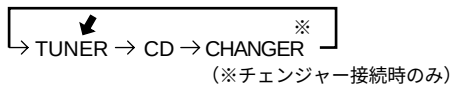
- Memo**
- 曲の早送り/早戻しをするには、「▶▶」または「◀◀」を押し続けます。
 - MP3対応チェンジャーを接続した場合、本機の内蔵MP3と同様に操作することができます。
 - チェンジャーモードのとき、「曲のイントロだけを聴く/曲順を変えて聴く/繰り返し聴く」などについては、CD操作(8~9ページ)、MP3操作(10~12ページ)を参照してください。
 - CD/チェンジャーモード時に「BAND」を押すと、ディスクモードが切りかわります。
 - Versatile Link Terminal (KCA-410C) を使用し、チェンジャーなど2台の製品を接続している場合は、「BAND」を押して製品を選びます。
 - 別売のDVDチェンジャーを接続している場合は、CDチェンジャー同様に本機から操作することができます。
詳しい操作については、DVDチェンジャー側の取扱説明書をご覧ください。



ラジオ操作

ラジオを聴く

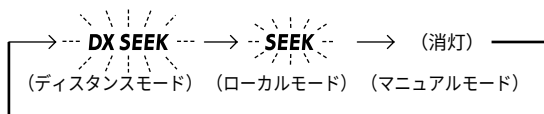
- 1 「SOURCE」を押して、TUNERモードにする。
TUNERモードにするとアンテナが伸びる。(パワーアンテナ装着車のみ)



- 2 「BAND」を押して、バンドを選ぶ。



- 3 「TUNE」を押して、チューニングモードを選ぶ。



- 初期設定はディスタンスモードに設定されています。
 - ・ディスタンスモードのとき
受信可能な放送局を自動的に受信します。(自動選局)
 - ・ローカルモードのとき
電波の強い放送局だけを自動的に受信します。(自動選局)
 - ・マニュアルモードのとき
1段階ずつ周波数が変わります。(手動選局)

- 4 「◀◀」または「▶▶」を押して、聴きたい放送局(周波数)を探す。
押し続けると連続で周波数が切りかわる。

- 5 「MODE」(ロータリーエンコーダー)を回転させて、音量(0~35)を調整する。

放送局を記憶する

- 1 「ラジオを聴く」を参照して、記憶させたい放送局に周波数を合わせる。
- 2 「1」~「6」のうち1つを2秒以上押す。
押されたNo.に、放送局が記憶される。



- 放送局は18局まで記憶できます。
FM1...6局、FM2...6局、AM...6局
- すでに記憶されているスイッチに記憶させると、後から記憶させた放送局が有効になります。

自動的に放送局を記憶する

- 1 「BAND」を押して受信したいバンドを表示させる。



- 2 「A.M.E」を2秒以上押す。

電波の強い順に6つの放送局が自動的に受信されて「1」~「6」に記憶される。記憶が終わると「1」に記憶されている放送局が受信される。



- 放送局を1つも受信できなかったときは、操作の直前に受信していた放送局が受信されます。

記憶した放送局を受信する

- 1 「BAND」を押してバンドを選ぶ。

→FM1→FM2→AM

- 2 「1」～「6」のうち1つを押す。

選択した放送局が受信される。

2 82.5

プリセットインジケータ

(「1」～「6」に記憶されている放送局を受信しているときに表示されます。)

オーディオディスプレイに＜STインジケータ＞が点灯しているときは、FMステレオ放送が受信されています。
(AMステレオ放送は常にモノラルで受信します。)



道路交通情報を受信する TRF (トラフィックインフォメーション)

- 1 「TRF」を2秒以上押す。

TRFモードになり、AM放送の1620kHz、または1629kHzの交通情報を受信する。

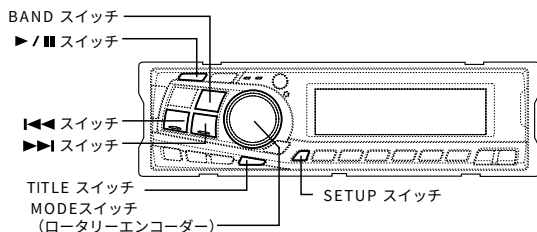
1620

- 2 「◀◀」または「▶▶」を押して、1620kHz/1629kHzを切りかえる。

- 3 解除するには、再度「TRF」を2秒以上押す。



- CD、チェンジャー、ラジオのいずれかを聴いていても、交通情報を受信できます。



タイトル／テキスト操作

タイトル／テキスト／スクロールとは

この説明書で使用する「タイトル」、「テキスト」、「スクロール」という言葉のちがいについて説明します。

●タイトルとは

文字の入力と表示ができることを言います。本機の場合は「CD」、「DVD」、「ビデオCD」や「ラジオ放送局」の名称をタイトルとしてつけることができます。製品によっては文字を正確に表示できない場合もあります。(MP3ディスクのタイトル入力/表示は行えません。)

●テキストとは

あらかじめCDに入力されている文字の表示ができることを言います。



マークがついているものにはテキストが入っています。

文字を正確に表示できない場合もあります。

●タイトル／テキスト入力表示一覧

処理 モード	タイトル		テキスト	
	入力	表示	入力	表示
CD	○	○	×	○
ラジオ	○	○	×	×
DVD	○	○	×	×
ビデオCD	○	○	×	×

●スクロールとは

文字を次々と表示させることを言います。本機では、曲が変わったときなどに一回だけスクロールする「マニュアルモード」とスクロールを繰り返す「オートモード」を搭載しています。CDテキストとフォルダ名、ファイル名、ID3タグ表示のみスクロール表示します。

- 「MANU (マニュアル) モード」のとき、再スクロールを行うには (CDモードのとき)

- 1 CDテキストまたは、フォルダ名、ファイル名、ID3タグ表示のとき、「TITLE」を3秒以上押す。



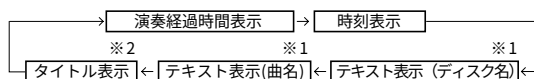
タイトル／テキストを表示する

「ラジオ放送局」や「CD」、「DVD」、「ビデオCD」に本機からタイトルを入力していれば、タイトルをオーディオディスプレイに表示させることができます。また、CDテキスト対応の音楽CDの演奏中に、ディスク名／トラック名などを表示させることもできます。

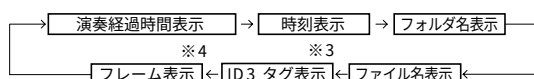
MP3ファイルを演奏中は、フォルダ名、ファイル名、ID3タグの表示が可能です。

1 「TITLE」を押す。

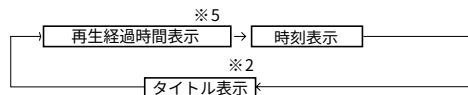
(CDモードのとき)



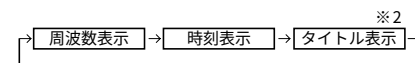
(MP3モードのとき)



(DVD／ビデオCDモードのとき)



(TUNERモードのとき)



- ※1 CDテキストが入っていない場合は **NO TEXT** と表示される。
- ※2 タイトルが入っていない場合は **NO TITLE** と表示される。
- ※3 MP3ファイルにID3タグ情報が入っていれば、曲名、アルバム名、アーティスト名が表示される。その他の情報は表示されない。
ID3タグ情報がない場合は **NO TAG** と表示される。
- ※4 MP3ファイル作成時のサンプリングレートとビットレートを表示する。
- ※5 PBC機能付きビデオCDは、PBCOFF時に再生経過時間が表示されます



- CDチェンジャーでテキスト表示するのは、CD-TEXT対応のCDチェンジャーのみです。
- 「ID3タグ」「サンプリングレート」「ビットレート」については54ページの用語説明を参照してください。
- 漢字／ひらがななど本機で表示できない文字情報の場合、「NO SUPPORT」と表示されます。
- リモコンスイッチの「TITLE」から、タイトル／テキストの表示やタイトル入力の操作はできません。

タイトルをつける

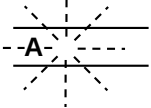
お好みの「ラジオ放送局」や「CD」、「CDチェンジャーのCD」「DVD」、「ビデオCD」にタイトルをつけることができます。
(MP3ディスクにタイトル入力はいけません。)

- 1 タイトルをつけたいCD、DVD、ビデオCDまたはラジオ放送局を選ぶ。
- 2 「TITLE」を押して、タイトル表示モードを選ぶ。
詳しくは「タイトル／テキストを表示する」(16ページ)を参照。
- 3 「TITLE」を3秒以上押す。
- 4 10秒以内に、「BAND」を押して、文字の種類を選ぶ。

→ カタカナ → アルファベット(大英字) → アルファベット(小英字) → 数字/記号 →

- 5 10秒以内に、「MODE」(ロータリーエンコーダー)を回転させて、入力したい文字記号を選ぶ。

- 6 「MODE」を押す。
オーディオディスプレイの1桁目が確定し、2桁目が点滅する。



- 7 4~6を繰り返し8桁まで入力できる。
8桁未満のときは「TITLE」を押して、タイトル入力を終了させる。

- 8 タイトル表示モードを解除するには、「TITLE」を押して、表示モードを切りかえる。



- オーディオディスプレイに **FULLDATA** と表示されたときは、不要なタイトルを消してから、入力してください。
- タイトル名を消すには空白を選び、上記操作手順同様に入力します。
- 内蔵ディスクはCD、DVD、ビデオCD合わせて、18枚分までタイトルメモリーできます。
- ラジオ放送局には最大24局(FM/AM合わせて)まで、タイトルをメモリーできます。
- CDチェンジャーの場合は機種によってメモリー数が異なります。
- 記憶した内容は、バッテリー電源コードを外すと消去されます。
- 手順4~7の各操作は、10秒間操作を行わないと、入力モードが解除されます。
- 曲にタイトルをつけることはできません。
- 本機ではMP3ファイルに、ファイル名、フォルダ名、IDタグを入力することはできません。

スクロールの設定

- 1 「SETUP」を3秒以上押す。
- 2 「◀◀」または「▶▶」を押して、SCRモードを選ぶ。
- 3 「BAND」を押して、スクロールの設定を切りかえる。
SCR AUTO ↔ SCR MANUAL
(工場出荷時の設定)
- 4 設定が終了したら「SETUP」を押す。
通常表示モードに戻る。



- スクロールするのは、CDテキスト／フォルダ名／ファイル名／ID3タグのみです。
- AUTOに設定すると、繰り返しスクロール表示を続けます。

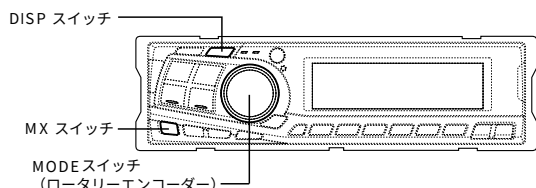
記憶したタイトルを消す

本機で入力、記憶したタイトルを消去することができます。

- 1 ラジオ/CD/DVD/ビデオCD/CDチェンジャーモードのときに、「TITLE」を押して、タイトル表示モードを選ぶ。
詳しくは、「タイトル／テキストを表示する」(16ページ)を参照。
- 2 「TITLE」を3秒以上押す。
タイトルの1桁目が点滅する。
- 3 10秒以内に「▶/■」を2秒以上押す。
最初にメモリーされたタイトルが点滅する。
- 4 10秒以内に「◀◀」または「▶▶」を押して消去したいタイトル名を探す。
- 5 10秒以内に「▶/■」を2秒以上押す。
タイトルが消去される。
- 6 タイトル消去モードを解除するには、「TITLE」を押す。



- CDテキストを消去することは、できません。



Memo

- ディフューズ（7ページ）がONのときは、操作を受け付けません。
- ラジオ/CD/MP3などの各音楽ソースごとに設定することができます。
- 手順1の操作で、MX OFFに設定すると全ての音楽ソースが「MX OFF」となります。

サウンド調整

MXモードの設定

MX（Media Xpander）は、ラジオ/CD/MP3など音楽ソースごとにボーカルや各楽器の音を際立たせ、走行騒音の多い車内においても音楽をクリアに再生することができます。

1 「MX」を押して、MX ONモードを選ぶ。

↓
MX ON ⇄ MX OFF

2 「MX」を2秒以上押して、MX選択モードを呼び出す。

3 15秒以内に「MODE」（ロータリーエンコーダー）を回転させて好みのモードを選ぶ。

- ・OFFを選ぶとMXの効果がOFFになる。
- ・現在選んでいる音楽ソース（ラジオ（AMラジオを除く）/CDなど）についてのレベルを調整できる。

FM：MXレベル1～3，OFF

こもりがちな中高域の音をよりクリアにし、全帯域にバランスのとれた音を再生する。

CD：MXレベル1～3，OFF

情報量豊富なCD。その情報量を活かしたメリハリのある音を再生する。

MP3/MD：MXレベル1～3，OFF

圧縮時に欠落された情報を補正し、原音に近いバランスのとれた音を再生する。

DVD(またはビデオCD)：

- ・MOVIE MX1～2
映画ディスクのセリフ部分をより鮮明に再生する。
- ・MUSIC MX，OFF
ミュージッククリップなどの情報量豊富なディスク。その情報量を活かし、メリハリのある音を再生する。

AUX：MXレベル1，OFF

接続するメディアに対応したMXモード（MP3，MUSIC，MOVIE）が選べる。

4 設定が終了したら「MODE」を押す。 通常モードに戻る。

レベルインジケータ表示パターンの切りかえ

レベルインジケータ表示パターンをお好みに合わせ選ぶことができます。また、レベルインジケータ表示をOFFにすることもできます。

1 「DISP」を押して、希望の表示パターンを選ぶ。

No.	表示内容
1	パターン1
2	パターン2
3	パターン3
4	OFF

タイムコレクション（時間補正）について

車という特殊な条件下であるため、リスニングポジションとそれぞれのスピーカーの距離に大きなばらつきがあります。リスニングポジションでの時間差を取り除くときにこの機能を使います。ここでは、時間補正値の算出方法について説明します。

- 1 リスニングポジション（運転席など）に座り、頭の位置と各スピーカーの距離（m）を測定する。
- 2 一番遠いスピーカーの距離とその他のスピーカーの距離の差を算出する。

$$L = (\text{一番遠いスピーカーの距離}) - (\text{それぞれのスピーカーの距離})$$
- 3 スピーカーごとに算出した距離を音速（343m/s気温20℃）で割る。
 その値が各スピーカーの時間補正値となる。

●具体例

1. 下記イラストのフロント右側スピーカーの時間補正値を算出する。

（条件）：

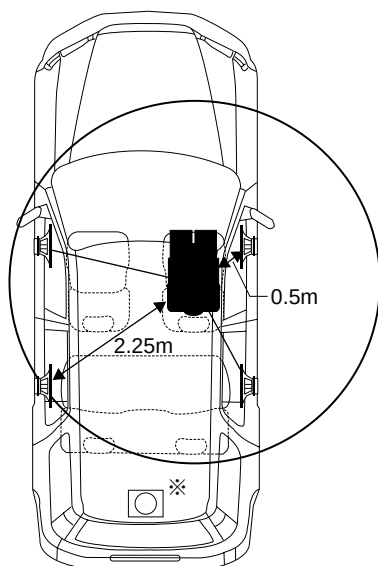
一番遠いスピーカー～リスニングポジション：2.25m

フロント右側スピーカー～リスニングポジション：0.5m

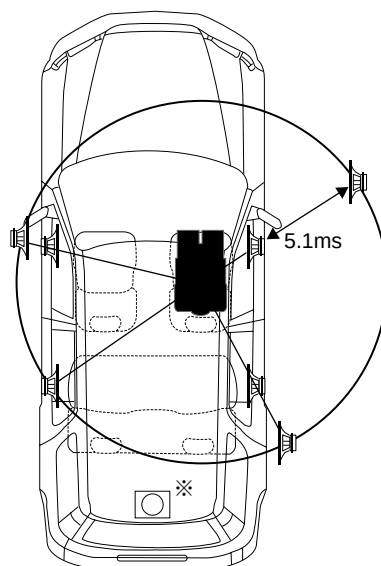
（算出）： $L = 2.25\text{m} - 0.5\text{m} = 1.75\text{m}$

補正時間 = $1.75 \div 343 \times 1000 = 5.1 \text{ (ms)}$

つまり、フロント右側スピーカーの時間補正値に5.1（ms）与えることで、見かけの距離を持たせて、一番遠いスピーカーと距離を一致させる。

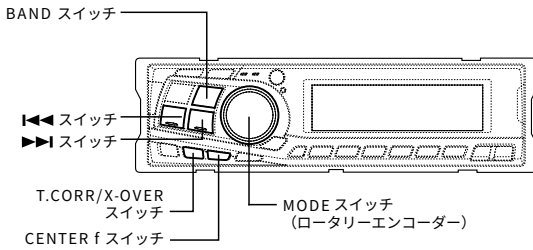


リスニングポジションと各スピーカーまでの距離が違うために偏った音になる。
 右前スピーカーと左後スピーカーでは1.75mの差がある。



時間補正により到達時間差が解消される。
 右前スピーカーに5.1msの時間補正を行い、リスニングポイントとスピーカーまでの距離の整合をとることができる。

サブウーハー[※]の時間補正は、できませんがフロント/リアスピーカーの時間補正を行うことで、サブウーハーをフロント方向に定位させることができます。



Bass Focusの設定

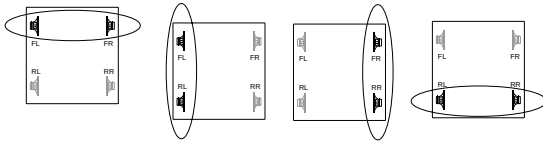
あらかじめ設定されているステップ値（時間差）を使用することで、前後/左右同時に時間差を設定でき、感覚的に時間補正を調整することができます。
ステップは、0.1ms間隔で0～99ステップ用意しています。

1 「T.CORR」を押して、Bass Focus設定モードを選ぶ。

→ Bass Focus 設定モード → タイムコレクション設定モード → 通常モード

2 15秒以内に「BAND」を押して前後左右のスピーカーを選ぶ。

→ 前（左右）スピーカー → 左（前後）スピーカー → 右（前後）スピーカー → 後（左右）スピーカー



3 15秒以内に「MODE」(ロータリーエンコーダー)を回転させて、前後/左右のステップを設定する。

4 さらに別のチャンネル(スピーカー)を設定するには、手順2～3を繰り返す。

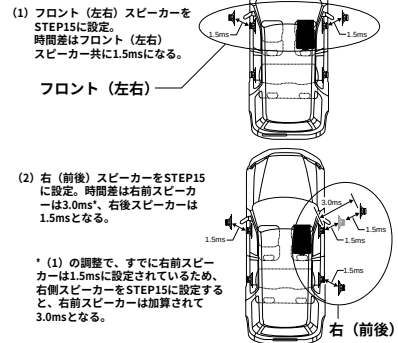
5 設定が済んだら「T.CORR」を押して、通常モードに戻る。

→ Bass Focus 設定モード → タイムコレクション 設定モード → 通常モード



● Bass Focusでの設定は、タイムコレクションにも反映されます。

手順2、3の設定例



時間差表

STEP数	時間差(ms)	STEP数	時間差(ms)	STEP数	時間差(ms)
0	0.0	34	3.4	68	6.8
1	0.1	35	3.5	69	6.9
2	0.2	36	3.6	70	7.0
3	0.3	37	3.7	71	7.1
4	0.4	38	3.8	72	7.2
5	0.5	39	3.9	73	7.3
6	0.6	40	4.0	74	7.4
7	0.7	41	4.1	75	7.5
8	0.8	42	4.2	76	7.6
9	0.9	43	4.3	77	7.7
10	1.0	44	4.4	78	7.8
11	1.1	45	4.5	79	7.9
12	1.2	46	4.6	80	8.0
13	1.3	47	4.7	81	8.1
14	1.4	48	4.8	82	8.2
15	1.5	49	4.9	83	8.3
16	1.6	50	5.0	84	8.4
17	1.7	51	5.1	85	8.5
18	1.8	52	5.2	86	8.6
19	1.9	53	5.3	87	8.7
20	2.0	54	5.4	88	8.8
21	2.1	55	5.5	89	8.9
22	2.2	56	5.6	90	9.0
23	2.3	57	5.7	91	9.1
24	2.4	58	5.8	92	9.2
25	2.5	59	5.9	93	9.3
26	2.6	60	6.0	94	9.4
27	2.7	61	6.1	95	9.5
28	2.8	62	6.2	96	9.6
29	2.9	63	6.3	97	9.7
30	3.0	64	6.4	98	9.8
31	3.1	65	6.5	99	9.9
32	3.2	66	6.6		
33	3.3	67	6.7		

タイムコレクションの調整

操作の前に、「タイムコレクション（時間補正）について」（19ページ）を参照してください。

1 「T.CORR」を押して、タイムコレクション設定モードを選ぶ。

→ Bass Focus 設定モード → タイムコレクション 設定モード → 通常モード

2 15秒以内に「BAND」を押して調整するスピーカーを選ぶ。

→ F-L → F-R → R-L → R-R

3 15秒以内に「MODE」(ロータリーエンコーダー)を回転させて、時間補正值(0.0～9.9)を調整する。

4 さらに別のスピーカーを調整するには、手順2～3を繰り返す。

5 調整が済んだら「MODE」を押す。 調整モードが解除され、通常モードに戻る。

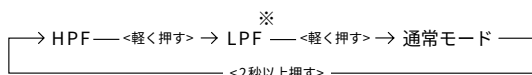


● タイムコレクション（時間補正）での調整値は、Bass Focusモードにも反映されます。

X-OVERの設定

HPF（ハイパスフィルター）／LPF（ローパスフィルター）を設定することで好みの音響空間を再現することができます。

1 「X-OVER」を2秒以上押し、HPFまたはLPF調整モードにする。



※ 本機側のサブウーハー出力をOFFに設定した場合、LPF機能は使用できません。

2 15秒以内に「◀◀」または「▶▶」を押して、周波数を選ぶ。

FLAT(OFF) ↔ 80Hz ↔ 120Hz ↔ 160Hz

HPF設定の場合

設定した周波数より上の周波数帯域を出力する。

LPF設定の場合

（本機側のサブウーハー出力を使用した場合のみ有効）

設定した周波数より下の周波数帯域を出力する。

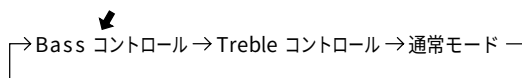


- HPF、LPFとバス／トレブルセンター周波数を組み合わせて使用した場合、設定した音域によっては強調されないことがあります。
- LPF、HPFをOFF以外に設定した場合は本機のサブウーハー出力はモノラルになります。
- 15秒間各設定の操作を行わずにいると自動的に通常モードに戻ります。

低音を強調する（バスセンター周波数）

お聴きになる音楽ソフトに合わせて強調したい周波数（低音）を設定／調整することができます。

1 「CENTERf」を押して、Bassコントロールモードを選ぶ。



2 15秒以内に下記のそれぞれの設定／調整を行う。

バスセンター周波数の設定

設定した周波数の音域（低音）を強調する。

（各音楽ソース共通設定）

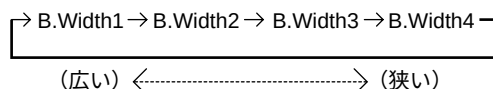
1) 「◀◀」または「▶▶」を押して、周波数を選ぶ。

→ 60Hz ↔ 70Hz ↔ 80Hz ↔ 90Hz ↔
→ 180Hz ↔ 150Hz ↔ 130Hz ↔ 100Hz ↔

バス帯域幅の設定

設定した周波数に対して帯域幅を変更することができる。（各音楽ソース共通設定）

1) 「BAND」を押して、帯域幅を設定する。



バスレベルの調整

バスレベルを調整することで低音域を強めたり、弱めたりすることができる。

（各音楽ソースごとに調整が可能）

1) 「MODE（ロータリーエンコーダー）」を回転させて、お好みのBass Level（-7～+7）を選ぶ。

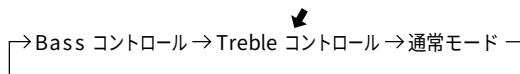


- 15秒間、設定／調整の操作を行わずにいると自動的に通常モードに戻ります。
- ディフイットの設定がONのときは、操作を受け付けません。
- 外部オーディオプロセッサを接続した場合は、調整を行えません。

高音を強調する（トレブルセンター周波数）

お聴きになる音楽ソフトに合わせて強調したい周波数（高音）を設定／調整することができます。

1 「CENTERf」を押して、Trebleコントロールモードを選ぶ。



2 15秒以内に下記のそれぞれの設定／調整を行う。

トレブルセンター周波数の設定

設定した周波数の音域（高音）を強調する。

（各音楽ソース共通設定）

1) 「◀◀」または「▶▶」を押して、周波数を選ぶ。

→ 10.0kHz ↔ 12.5kHz ↔ 15.0kHz ↔ 17.5kHz ↔

トレブルレベルの調整

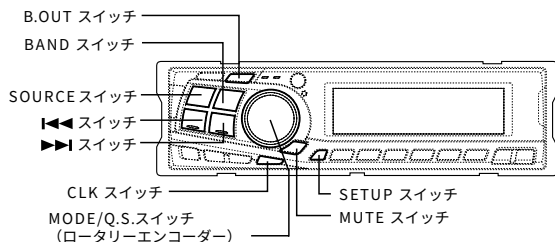
トレブルレベルを調整することで高音域を強めたり、弱めたりすることができる。

（各音楽ソースごとに調整が可能）

1) 「MODE（ロータリーエンコーダー）」を回転させて、お好みのTreble Level（-7～+7）を選ぶ。



- 15秒間、設定／調整の操作を行わずにいると自動的に通常モードに戻ります。
- ディフイットの設定がONのときは、操作を受け付けません。
- 外部オーディオプロセッサを接続した場合は、調整を行えません。



便利な機能

ミュートのON/OFF

- 1 「MUTE」を押す。
瞬時に音量が下がる。
- 2 解除するには、再度「MUTE」を押す。

クイックサーチ

素早く簡単に曲（トラック）やファイルなどを選択することができます。

- 1 「SOURCE」を押す。
好みのソースモードにする。
（ここでは、CDモードを例に説明します。）
- 2 「Q.S.」を2秒以上押す。
クイックサーチモードになる。
- 3 「Q.S.」（ロータリーエンコーダー）を回転させて、希望の曲（トラックNo.）を選ぶ。
 - ・CD/チェンジャーモード：
トラックの選択ができる。
 - ・MP3モード：
ファイルNo.の選択ができる。
- 4 「Q.S.」を押す。
クイックサーチモードが解除され、選んだ曲（トラックNo.）を演奏する。



● 10秒間操作を行なわないと、クイックサーチモードは解除されます。

操作音の切りかえ

スイッチを押したときに操作音を鳴らして、操作を受けたことを伝えます。

- 1 「SETUP」を3秒以上押す。
- 2 「<<」または「>>」を押してBEEPモードを選ぶ。
- 3 「BAND」を押して、BEEPの設定を切りかえる。

BEEP ON ↔ BEEP OFF
（工場出荷時の設定）

- 4 設定が終了したら「SETUP」を押す。
通常表示モードに戻る。



● 可動ディスプレイの開閉時の警告ブザーは、BEEPのON、OFFに関係なく音を出します。

TUNER (FM) 音質の設定

本機は「MAX TUNE SQ」を搭載しており、最高音質の性能が楽しめます。さらに、お好みで音質を設定することができます。

- 1 「SETUP」を3秒以上押す。
- 2 「<<」または「>>」を押してNORMAL/HI-FI/STABLEモードを選ぶ。
- 3 「BAND」を押して、TUNER(FM)の設定を切りかえる。

→ NORMAL → HI-FI → STABLE
（工場出荷時の設定）

NORMAL : 標準設定
HI-FI : 音質重視設定
STABLE : ノイズレス重視設定

- 4 設定が終了したら「SETUP」を押す。
通常モードに戻る。

リモコンスイッチの「SETUP」から、オーディオに関するSETUP機能の操作はできません。



バックライトをOFFにする (BLACK OUT機能)

オーディオディスプレイ表示部のバックライトを消灯することで、より良い高音質を実現させることができます。

- 1 「B. OUT」を3秒以上押す。
オーディオディスプレイ表示部のバックライトが消える。
- 2 解除するには再度、「B. OUT」を3秒以上押す。



● バックライトが消灯しているときに他のスイッチ操作を行った場合、表示部のバックライトを5秒間だけ点灯させ、再び消灯させます。

オーディオディスプレイの明るさ調整

「AUTO」に設定すると、ヘッドライト点灯のとき、オーディオディスプレイが減光します。夜間、オーディオディスプレイが明るすぎる場合には「AUTO」にすることをお勧めします。

- 1 「SETUP」を3秒以上押す。
- 2 「◀◀」または「▶▶」を押してDIMモードを選ぶ。
- 3 「BAND」を押して、DIMの設定を切りかえる。

DIM AUTO ↔ DIM MANUAL
(工場出荷時の設定)

- 4 設定が終了したら「SETUP」を押す。
通常表示モードに戻る。



● 本機のイルミネーションコードを接続していない場合は、動作しません。

オーディオディスプレイの濃淡調整

オーディオディスプレイの表示が見えにくいときは、オーディオディスプレイの濃さを調整することができます。

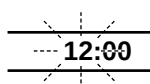
- 1 「SETUP」を3秒以上押す。
- 2 「◀◀」または「▶▶」を押してCONTRASTモードを選ぶ。
- 3 「MODE (ロータリーエンコーダー)」を回転させて、濃さを調整する。
-6 ~ +6 までの段階で調整することができる。

CONTRAST ±0
(工場出荷時の設定)

- 4 設定が終了したら「SETUP」を押す。
通常表示モードに戻る。

時刻を設定する

- 1 「CLK」を繰り返し押して、時刻表示モードにする。
更に「CLK」を3秒以上押す。
時刻が点滅して、調整モードに入る。



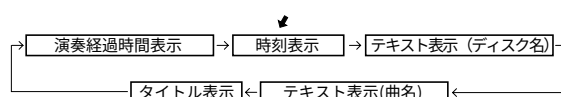
- 2 5秒以内に「MODE」(ロータリーエンコーダー)を回転させて、「時間」を調整する。
「時間」を合わせたら、「MODE」を押す。
- 3 5秒以内に「MODE」(ロータリーエンコーダー)を回転させて、「分」を調整する。
「分」を合わせたら、「MODE」を押す。



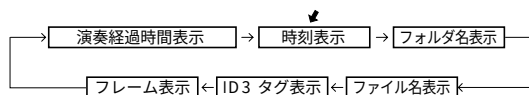
- どのモード(CD、ラジオ、チェンジャーなど)でも時刻を設定することができます。
- 時報に合わせたいときは、「時」設定後に「MODE」を長く押すと分表示が00となります。「: 30」を超えた表示のときに「MODE」を長押しすると「時」は繰り上がります。

時刻を表示する

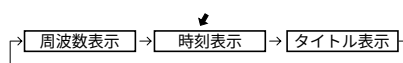
- 1 「CLK」を繰り返し押して、時刻表示モードを選ぶ。
(CDモードのとき)



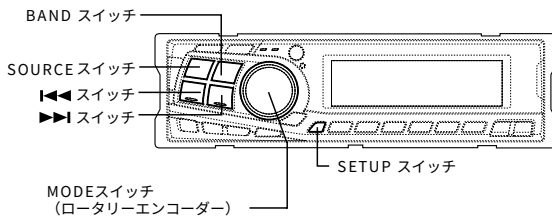
(MP3モードのとき)



(TUNERモードのとき)



- 時刻を表示している状態で、ラジオ、CDなどを操作すると、行った操作を5秒間表示した後、時刻表示に戻ります。
- 電源がOFF状態でもイグニッションキーがONのとき、「CLK」を押すと時刻を表示します。



拡張ユニット操作

サブウーハーを接続する

- 1 「SETUP」を3秒以上押す。
- 2 「◀◀」または「▶▶」を押してSUB-W モードを選ぶ。
- 3 「BAND」を押して、SUB-WをONまたはLINKにする。

→ SUB-W ON → SUB-W LINK → SUB-W OFF
(工場出荷時の設定)

- ・ SUB-W ON : リアDVD機能 (34ページ) のON/OFF 設定に関係なくサブウーハー出力はON の状態になる。
- ・ SUB-W LINK : リアDVD機能 (34ページ) をOFF設定 時、サブウーハー出力はONの状態になる。 リアDVD機能 (34ページ) をON設定 時、サブウーハー出力はOFFの状態になる。
- ・ SUB-W OFF : リアDVD機能 (34ページ) のON/OFF 設定に関係なくサブウーハー出力はOFF の状態になる。

- 4 設定が終了したら「SETUP」を押す。
通常表示モードに戻る。
- 5 「MODE」を押してSUB-Wモードを選ぶ。

↓
→ SUB-W → BALANCE → FADER → DEFEAT → VOLUME



- SUB-Wを選んだ後、「◀◀」または「▶▶」を押すと、サブウーハー出力の位相 (0° (NOR)/180° (REV)) を切りかえることができます。
お好みの音が得られる方を選んでください。
- SUB-W LINKを選び、リアDVD機能をONにした状態で、サブウーハー出力レベルの調整をすることはできません。
- 当社の外部オーディオプロセッサと接続した場合は、SUB-W LINKを選択することはできません。

- 6 5秒以内に「MODE」(ロータリーエンコーダー)を回転させて、サブウーハー出力のレベル (0~+15) を調整する。



Memo

- モードを選択して5秒間操作を行わなかった場合、調整モードは解除されます。
- SUB-W ONを選び、リアDVD機能をONにした状態で、サブウーハー出力レベルの調整や位相切りかえを行うと、その調整した値は記憶されます。再度リアDVD機能をONにすると、その記憶された値を呼び出します (当社の外部オーディオプロセッサと接続していない場合のみ)。

デジタルアウトの設定

光デジタル対応の製品と接続した場合に、「ON」に設定します。

- 1 「SETUP」を3秒以上押す。
- 2 「◀◀」または「▶▶」を押して、OPTOUTモードを選ぶ。
- 3 「BAND」を押して、ONにする。

OPTOUT ON ↔ OPTOUT OFF
(工場出荷時の設定)

- 4 設定が終了したら「SETUP」を押す。
通常モードに戻る。その後、一度ACCをOFFにしてから再度ACC ONにしてください。
デジタルアウトの設定が確定されます。

外部オーディオプロセッサの光デジタル入力切りかえ設定

当社の光デジタル対応オーディオプロセッサと接続した場合は、「デジタルアウトの設定」(24ページ)をONにしたあと、本設定の切りかえを行ってください。

- 1 「SETUP」を3秒以上押す。
- 2 「◀◀」または「▶▶」を押して、APRC OTHERを選ぶ。

→ DEMO → NORMAL → DIM → SUB → BEEP → MUTE → SCR → AUX
← CONTRAST ← (APRC OTHER / APRC H510) ※ ← OPTOUT ← INT ← MixDisc CD ← DISC ALL / FOLDER

※OPTOUTをONに設定したとき表示される。

- 3 「BAND」を押して、APRC OTHERまたはAPRC H510を選ぶ。
APRC OTHER : PXA-H510以外の光デジタル対応 (工場出荷時の設定) のオーディオプロセッサと接続した場合に設定する。
APRC H510 : PXA-H510と接続した場合に設定する。

- 4 設定が終了したら「SETUP」を押す。
通常モードに戻る。その後、一度ACCをOFFにしてから再度ACC ONにしてください。光デジタル入力切りかえの設定が確定されます。

外部入力の設定

別売のAi-RCA変換ケーブル（KCA-121B）と組み合わせるとRCA音声出力を持つテレビやビデオを本機に入力させることができます。

1 「SETUP」を3秒以上押す。

2 「◀◀」または「▶▶」を押してAUXモードを選ぶ。



※AUX ONに設定したとき表示される。

3 「BAND」を押して、ONにする。

AUX OFF ⇄ AUX ON

（工場出荷時の設定）



● AUXをONにした後に「◀◀」または「▶▶」で、（AUX表示切りかえ）を選び「BAND」を押してAUXモード時の「表示」を設定することができます。
例えば、テレビの時は「TV」、ゲームの時は「GAME」など本機側の表示を設定することができます。

4 設定が終了したら「SETUP」を押す。

通常表示モードに戻る。

5 「SOURCE」を押して、AUX（外部入力）モードを選び、音量などを調整する。

外部入力の設定（Versatile Link Terminal（KCA-410C）接続時）

別売のVersatile Link Terminal（KCA-410C）と組み合わせるとRCA音声出力を持つテレビやビデオを2台まで本機に入力させることができます。

1 「SETUP」を3秒以上押す。

2 「◀◀」または「▶▶」を押してAUXモードを選ぶ。



※AUX ONに設定したとき表示される。

3 「BAND」を押して、ONにする。

AUX OFF ⇄ AUX ON

（工場出荷時の設定）

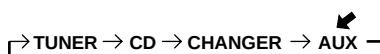


● AUXをONにした後に「◀◀」または「▶▶」で、（AUX1またはAUX2表示切りかえ）を選び「BAND」を押してAUX1、2モード時の「表示」を設定することができます。

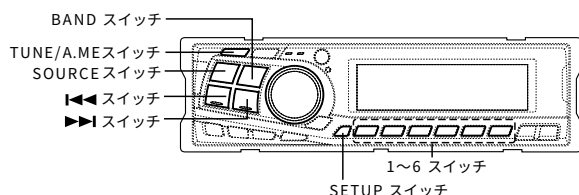
4 設定が終了したら「SETUP」を押す。

通常表示モードに戻る。

5 「SOURCE」を押して、AUX（外部入力）モードを選ぶ。



6 「BAND」を押して、接続された製品を選ぶ。



拡張ユニット操作

外部割り込みモードの設定

Ai割り込みBOX (NVE-K200) やAi-RCA変換ケーブル (KCA-121B) などと組み合わせると、音楽CD再生対応ナビゲーションでのCD音声やテレビの音声を本機に割り込ませることができます。組み合わせる製品によっては、利用できない場合があります。詳しくは組み合わせる製品の説明書を参照してください。

- 1 「SETUP」を3秒以上押す。
- 2 「I◀◀」または「▶▶I」を押してMUTEモードを選ぶ。
- 3 「BAND」を押して、MUTE OFFにする。

MUTE ON ⇄ MUTE OFF
(工場出荷時の設定)

- 4 設定が終了したら「SETUP」を押す。
通常表示モードに戻る。

外部割り込み時のディフューズ設定

外部割り込みした音声に対し、本機のバス/トレブル/MXをディフューズさせて出力させます。
(ディフューズ：バス/トレブルセンター周波数を初期値、MXをOFFにします。)

- 1 「SETUP」を3秒以上押す。
- 2 「I◀◀」または「▶▶I」を押してINTモードを選ぶ。
- 3 「BAND」を押して、INT ONにする。

INT OFF ⇄ INT ON
(工場出荷時の設定)

- 4 設定が終了したら「SETUP」を押す。
通常表示モードに戻る。



Memo

● INT ONに設定した場合（外部割り込み時）は、バス/トレブル/MXの調整なども行なうことができません。

●デモ機能について

本機には、表示演出のみの動作をオーディオディスプレイに表示させるデモ機能が用意されています。

- 1 「SETUP」を3秒以上押す。
- 2 「I◀◀」または「▶▶I」を押してDEMOを選ぶ。
- 3 「BAND」を押して、DEMO ONにする。
- 4 「SETUP」を押す。
キー操作を30秒間行わずにいるとデモが始まります。解除させるには、上記手順でDEMO OFFに設定してください。



TV (Ai-NET対応TV接続時) を操作する

放送局を選ぶ

- 1 「SOURCE」を押して、TVモードにする。

→ TUNER → CD → TV → CHANGER

(※各ユニットを接続している場合に表示)

- 2 「BAND」を押してバンドを選ぶ。

(例)

→ TV1 → TV2 → TV3

(バンド切りかえ表示は製品によって異なります。)

- 3 「TUNE」を押して、チューニングモードを選ぶ。

SEEK (SEEKモード)
↑
(消灯) (マニュアルモード)



- SEEKモードのとき
受信可能な放送局(チャンネル)を自動的に探します。
- マニュアルモードのとき
1段階ずつチャンネルが変わります。

- 4 「◀◀」または「▶▶」を押して、放送局を選ぶ。

選んだ放送局を記憶する<自動記憶>

- 1 「BAND」を押して記憶させたいバンドを選ぶ。

(例)

→ TV1 → TV2 → TV3

(バンド切りかえ表示は製品によって異なります。)

- 2 「A.ME」を2秒以上押す。

電波の強いチャンネルを選択し、「1」～「6」に記憶される。

記憶した放送局を受信する

- 1 「BAND」を押してバンドを選ぶ。

(例)

→ TV1 → TV2 → TV3

(バンド切りかえ表示は製品によって異なります。)

- 2 「1」～「6」のうち1つを押す。
ダイレクトに放送局が受信される。

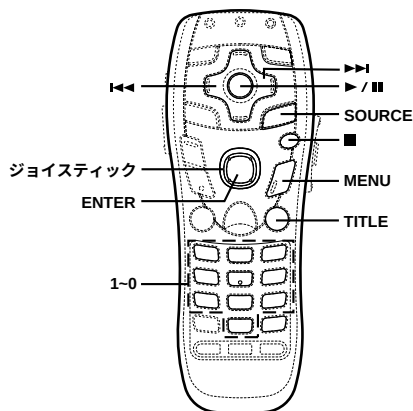


- Ai-NET対応TV(TVA-T017など)は現在発売されていません。

選んだ放送局を記憶する<手動記憶>

- 1 「放送局を選ぶ」を参照して記憶させたい放送局に合わせる。

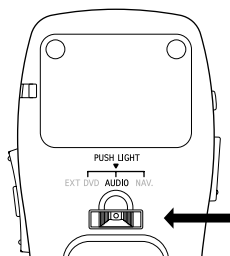
- 2 「1」～「6」のうち1つを2秒以上押す。
押されたNo.に放送局が記憶される。



- DVD/ビデオCD操作は、添付リモコン、本体（一部除く）の両方から操作することができます。本項目では、リモコンからの操作をメインに説明致します。
- 本体スイッチからの操作については、40ページをご覧ください。
- DVD/ビデオCDを観るときは、別売モニターが必要となります。
- プレイポジションメモリ機能：
再生中に電源またはイグニッションキーをOFFにしたり、ソースを切りかえても次に電源をONすると続きから再生します。

●リモコンご使用にあたって

DVD/ビデオCD操作をするには、リモコン後部にある切り換えスイッチを“AUDIO”側に切りかえてください。



●この説明書の見方

タイトルの機能を使うことのできるディスクを表します。

DVD/ビデオCDを再生する

DVD …DVD ビデオCD …ビデオCD

DVD/ビデオCDを再生する

DVD ビデオCD

- △注意 ●DVDの場合、ディスクによって各種操作を禁止しているものもあり、これらのディスクでは操作を受け付けられない場合もあります。
- ディスクによっては本書で説明している操作とは異なる場合があります。ディスクの説明書も合わせてご覧ください。
 - ディスクに指紋が付くと再生しない場合があります。再生しない場合は、ディスクを取り出し、きれいにふき取ってからご使用ください。
 - リモコンのボタンを押すときは、1つずつ確実に押してください。同時に複数のボタンを押すと誤動作の原因になります。
 - 再生中に電源またはイグニッションキーをOFFにしたり、ソースを切りかえても次に電源をONすると、続きから再生します。ディスクを切りかえた場合はプレイポジションメモリは解除されます。
 - ディスクまたは再生状態によっては、その操作を受け付けられない場合があります。その時はモニター画面に ⊗ マークを表示します。

1 本体の「△」を押して、ディスプレイを開く。

2 ディスクを挿入する。

ディスプレイが閉まり再生がはじまる。

<挿入時の注意>

- 文字やイラストが書いてある面を上にする。



Memo

- すでにディスクが入っているときは、「SOURCE」を押して、DISCモードにする と再生が始まります。

3 ディスクを取り出すときは、本体の「△」を押す。

ディスクは必ず取り出す。



Memo

- 両面ディスクのDVDは、自動でウラ面を再生しません。ディスクを取り出しウラ返しに入れ直してください。
- ナビゲーション用の地図ディスクは、絶対に挿入しないでください。故障の原因になります。
- 非対応ディスク、裏返しディスク、キズ／よごれているディスクなどを挿入した場合は、「DISC ERROR」とモニターディスプレイに表示されます。本体の「△」を押して、ディスプレイを開きディスクを取り出してください。

DVD ビデオCD

●メニュー画面が表示されたら

DVDやプレイバックコントロール(PBC)付きビデオCDでは、自動的にメニュー画面が表示される場合があります。この時は次の操作を行い再生させてください。



Memo

- ディスクによって異なりますが、「MENU」を押す、または「TITLE」を2秒以上押してメニュー画面を表示させることもできます。
- 本体スイッチの「TITLE」からは、メニュー画面を表示させることはできません。

DVDメニュー

「ジョイスティック」で希望の項目を選び「ENTER」を押す。



Memo

- ディスクによっては「0～9」（10キー）で直接メニュー項目を選ぶことができます。

ビデオCDメニュー

「0～9」（10キー）を使い希望する番号を選ぶ。



Memo

- PBCがOFFになっている場合はメニュー画面は表示されません。その場合は「MENU」を押してPBCをONにしてください。

再生中止（PRE-STOP）

DVD

ビデオCD

再生中に停止ボタンを押すと止まり、その位置を記憶します。

- 1 再生中に「■」を1回押す。
「PRE-STOP」と表示される。
- 2 PRE-STOP中に「▶/■」を押す。
再生中止した位置から再生される。



Memo

- ディスクによってはPRE-STOPした時、再生中止位置を正しく記憶できない場合があります。

再生停止

DVD

ビデオCD

- 1 再生中に「■」を2回押す。
「STOP」と表示される。



Memo

- 「■」を2秒以上押しても再生は停止します。
- 停止中に「▶/■」を押すと始めから再生されます。

早送り／早戻し

DVD

ビデオCD

- 1 再生中に「⏮」（早戻し）または「⏭」（早送り）を1秒以上押すと、2倍速早送り/早戻しになり、その状態で5秒以上押し続けると8倍速で早送り/早戻しができる。
- 2 通常再生に戻すには「⏮」または「⏭」をはなす。



Memo

- 早送り／早戻し中は音声と字幕は再生されません。
- DVD及びプレイバックコントロール（PBC）付きビデオCDでは早送り／早戻し中にメニュー画面に戻ることがあります。

チャプター／トラックの頭出し

DVD

ビデオCD

- 1 再生中に「⏮」または「⏭」を押す。
押すたびにチャプター／トラックが切りかわる。選んだチャプター／トラックの再生が始まる。
- ▶▶ 一つ後のチャプター／トラックの頭から再生。
⏮ 現在のチャプター／トラックの頭から再生。

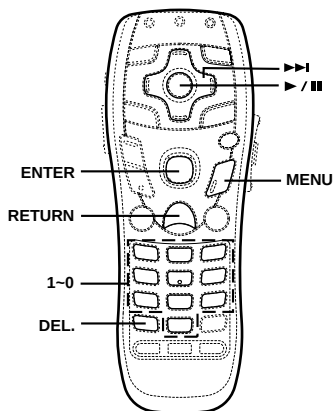


Memo

- DVDによっては、チャプターが無いものもあります。

補足説明

チャプターとは、
DVDに記憶されている映像や曲の区切り。
トラックとは、
ビデオCDやCDに記憶されている映像や曲の区切り（1曲分）。



静止（一時停止）する

DVD

ビデオCD

- 1 再生中に「▶/■」を1回押す。
- 2 再度、再生するには「▶/■」を押す。



Memo

- 静止中は音声は再生されません。
- 一時静止画（ポーズ）の状態から再生を開始すると画像や音声が一瞬止まる場合がありますが故障ではありません。

コマ送り再生

DVD

ビデオCD

- 1 一時停止中に「▶▶」を押す。
押すたびに1コマずつコマ送り再生する。
- 2 通常再生に戻すには「▶/■」を押す。



Memo

- コマ送り再生中は音声は再生されません。

スローモーション再生

DVD

ビデオCD

- 1 一時停止中に「▶▶」を押し続けると、1/8倍速でスローモーション再生になる。さらにその状態で5秒押し続けると1/2倍速にスローモーションの速度がかわる。
- 2 「▶▶」をはなすと、一時停止になるので、「▶/■」を押して再生させる。



Memo

- スローモーション再生中は音声は再生されません。
- スライドショーを再生中はスロー再生はできません。
- 1/2倍速、1/8倍速はおおよその速さです。ディスクによっても異なります。
- バックスローモーション再生はできません。

タイトル番号で頭出し

DVD

DVDに記憶されているタイトルから簡単に頭出しできます。

- 1 再生停止中に、再生させたいタイトル番号を「0」～「9」で入力する。

TITLE -1

（タイトル番号1を入力した場合のモニターディスプレイ表示）



Memo

- PRE-STOPの状態ではチャプター/トラック番号の頭出しになります。
- タイトル番号が記憶されていないディスクでは頭出しはできません。
- タイトル番号が2桁のときは、手順2の「ENTER」を押さなくても自動で再生が始まります。
- 「DEL」を押すたびに、タイトル番号を1桁ずつ消去できます。「DEL」を2秒以上押すと、タイトル番号をすべて消去できます。
- 「RETURN」を押すと、頭出しモードは解除されます。

- 2 「ENTER」を押す。
選んだタイトル番号から再生が始まる。

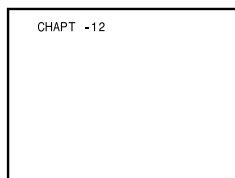
CHAPTER／トラック 番号で直接頭出し

DVD

ビデオCD

ディスクに記憶されているCHAPTER／トラックを簡単に頭出しできます。

- 1 再生停止時以外のときに、再生させたいCHAPTERまたはトラック番号を「0」～「9」で入力する。



(CHAPTER番号12を入力した場合の
モニターディスプレイ表示)

- 2 「ENTER」を押す。

選んだCHAPTER／トラックから再生が始まる。



Memo

- CHAPTERが記憶されていないディスクでは頭出しはできません。
- CHAPTER番号が3桁のときは、手順2の「ENTER」を押さなくても自動で再生が始まります。
- プレイバックコントロール（PBC）付きビデオCDではトラック番号で直接頭出しは使用できません。「MENU」を押してPBC OFFにしてから行ってください。
- 「DEL.」を押すたびに、CHAPTER／トラック番号を1桁ずつ消去できます。「DEL.」を2秒以上押すとCHAPTER／トラック番号をすべて消去できます。
- 「RETURN」を押すと頭出しモードは解除され通常再生に戻ります。
- CHAPTER／トラック番号がわかっている場合は、再生中またはPRE-STOP中などに「0～9」キーで直接頭出しができます。

CHAPTER／トラック ／タイトルリピート再生

DVD

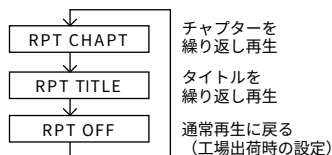
ビデオCD

ディスクのタイトルやCHAPTER、トラックを選び繰り返し再生できます。

- 1 再生中に本体の「REPEAT」を押す。
押すごとにリピートの種類が変わる。

DVD

<モニターディスプレイ表示>



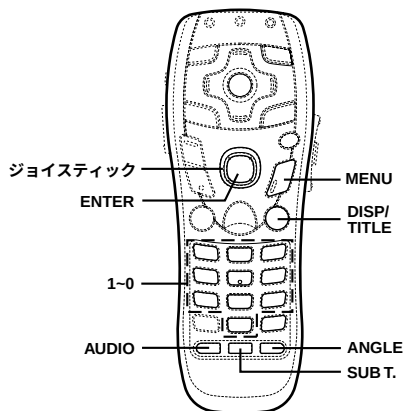
ビデオCD

<モニターディスプレイ表示>



Memo

- プレイバックコントロール（PBC）付きビデオCDではトラックリピート／ディスクリピートは使用できません。「MENU」を押してPBC OFFにしてから行ってください。
- ディスクによってはリピートの種類が切りかえられない場合があります。



音声言語切りかえ

DVD

ビデオCD

複数の音声または音声言語が記録されているDVDでは、再生中に音声言語を切りかえることができます。

1 再生中に「AUDIO」を押す。

押すごとにディスクに記録されている音声が変わる。



- 電源投入時／ディスク交換時は初期設定(35ページ)で設定されている言語になります。その言語がディスクにないときは、ディスクで決められている言語になります。
- ディスクによっては再生中の切りかえができない場合があります。そのときはディスクメニューから音声を選んでください。
- 音声変更まで多少時間がかかる場合があります。

● 多重音声記録されているビデオCD

1 再生中に「AUDIO」を押す。

押すごとにLチャンネル、Rチャンネル音声の組み合わせが変わる。

→ LL → RR → LR →

アングル切りかえ

DVD

複数のアングルで撮影された映像が記録されているDVDでは、再生中にアングル(角度)を切りかえることができます。

1 再生中に「ANGLE」を押す。

押すごとにディスクに記録されているアングルが切りかわる。



- アングル変更までに多少時間がかかる場合があります。
- ディスクによって異なりますがアングル切りかえには2種類あります。
 - ・シームレス : つぎめなくスムーズにアングルが切りかわる。
 - ・ノンシームレス : アングル切りかえ時、一瞬静止画となりその後アングルが切りかわる。
- 本体スイッチの「ANGLE ▲ ▼」からは、この操作はできません。

サブタイトル(字幕言語)切りかえ

DVD

複数の字幕言語が記録されているDVDでは、再生中に字幕言語の切りかえや非表示することができます。

1 再生中に「SUB T.」を押す。

押すごとにディスクに記録されている字幕言語が切りかわる。また字幕をOFFにする。



- 字幕言語変更までに多少時間がかかる場合があります。
- ディスクによっては再生中の切りかえができない場合があります。そのときはディスクメニューから選んでください。
- 電源投入時／ディスク交換時は初期設定で設定されている言語になります。その言語がディスクにないときは、ディスクで決められている言語になります。
- ディスクによってはOFFに設定しても、サブタイトルが表示される場合があります。

● ディスクメニューからの切りかえ

ディスクによって異なりますが、音声言語、アングル、サブタイトルをディスクメニューから切りかえることができます。

1 「MENU」を押す。または「TITLE」を2秒以上押してメニューを表示させ、項目を選び「ENTER」を押す。

2 「ジョイスティック」で言語またはアングルを選び「ENTER」を押す。
(ディスクによっては言語またはアングルメニュー表示中に「0～9」で選ぶことができます。)



ディスクの使用状態を表示する /設定を変更する

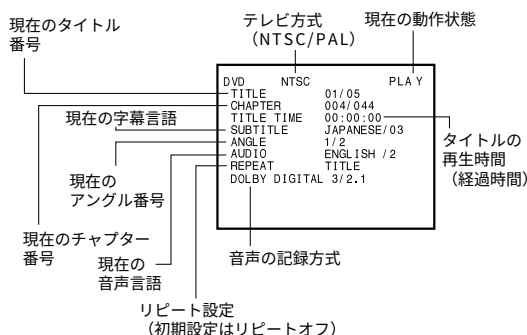
DVD

再生中のDVDビデオディスクの状態（タイトル番号、チャプター番号など）をモニター画面に表示して確認することができます。

また、設定を変更することができます。

1 再生中に「DISP」を押す。

再生状態が表示される。



2 設定を変更する場合は、「ジョイスティック」(上/下)で設定したい項目を選び、「ジョイスティック」(左/右)で設定値を変更する。

3 「ENTER」を押す。

設定値が確定する。



Memo

- ディスクによっては、手順2の操作後、設定値が確定される場合があります。

4 画面表示を消すにはもう一度「DISP」を押す。



Memo

- ディスクによっては、設定を変更できない場合があります。
- TITLE TIMEの設定は、変更できません。
- 本体スイッチの「DISP」から操作することはできません。

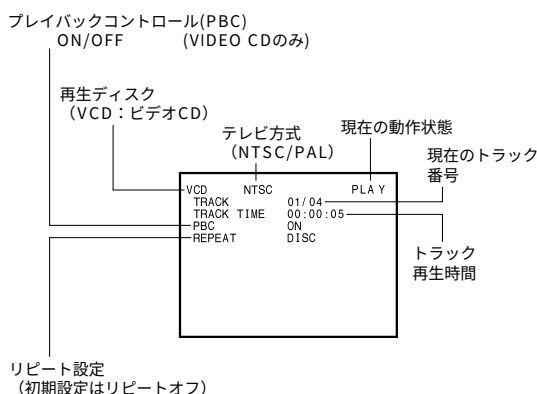
ディスクの使用状態を表示する /設定を変更する

ビデオCD

再生中のビデオCDの状態（トラック番号など）をモニター画面に表示して確認することができます。また、設定を変更することができます。

1 再生中に「DISP」を押す。

再生状態が表示される。



2 設定を変更する場合は、「ジョイスティック」(上/下)で設定したい項目を選び、「ジョイスティック」(左/右)で設定値を変更する。

3 「ENTER」を押す。

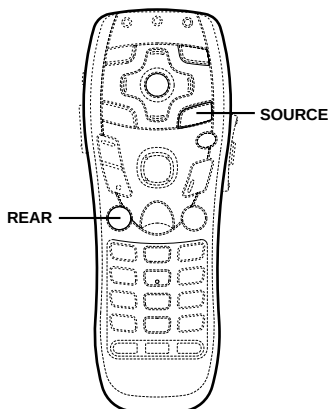
設定値が確定する。



Memo

- 本体スイッチの「DISP」から操作することはできません。
- PBCがONになっている場合は、設定を変更することはできません。その場合は「MENU」を押してPBCをOFFにしてください。

4 画面表示を消すにはもう一度「DISP」を押す。



リアDVD機能

DVD

ビデオCD

リアDVD機能をONに設定すると、車室内のフロント席とリア席で、それぞれ独立した空間をつくり出すことができます。例えば、フロント席でラジオなどのオーディオソースを聴きながら、リア席では別売のリアモニターとヘッドホンを使用しDVDを楽しむことができます。

1 リアモニターなどで再生したいDVDまたはビデオCDを本機に挿入する。

2 「REAR」を押し、リアDVD機能のON/OFFを切りかえる。

ONに設定すると、オーディオディスプレイのRear DVDインジケータが点灯する。

ONに設定した場合：

フロント席とリア席で同時再生/独立操作を可能にします。
フロント側のオーディオソース操作は本機のノーズスイッチを使って操作し、リアモニター側のDVD操作はリモコンで操作します。

3 「SOURCE」を押し、フロント側で聴きたいオーディオソースを選ぶ。



- 本機能は、DVDまたはビデオCDが本機に挿入していない場合は設定できません。
- リアDVD機能の設定をONにし、さらにリモコン受光部切りかえを“REM.REAR”にした場合は、リモコン操作の一部（POWER ON/OFF、VOLUME UP/DN、MUTE、SOURCE、ANGLE UP/DN、A.PROC、BAND）ができなくなります。
- 接続している拡張ユニット（リアモニターなど）の音量調整は本機ではできません。拡張ユニット側で音量調整してください。また、ミュート（瞬時に音量を下げる）はできません。
- リアDVD機能の設定をONにした状態では、リアモニターに外部割り込み（ナビゲーション割り込み音声など）はされません。
- リアDVD機能の設定をONにした状態でフェーダー調整を行うと、その調整した値は記憶されます。再度リアDVD機能の設定をONにするとその記憶された値を呼び出します。（当社の外部オーディオプロセッサと接続していない場合のみ）
- リアDVD機能の設定がONの状態、AMラジオ（1539kHz付近）を聴いている場合、ラジオ音声にノイズが聞こえる場合がありますが故障ではありません。

リモコン受光部切りかえ

DVD

ビデオCD

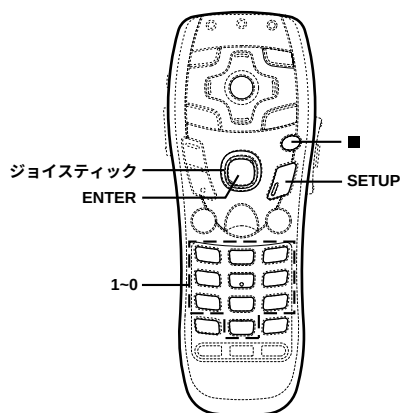
本機リモコン受光部を使用するか、または拡張ユニットのリモコン受光部を使用するかをお好みで切りかえることができます。

1 「REAR」を2秒以上押して、リモコン受光部を切りかえる。

REM.FRONT（本機リモコン受光部を使用する場合）



REM.REAR（別売のリモコン受光ユニット、またはモニター受光部を使用する場合など）



言語設定を変更する

音声言語、字幕言語、メニュー言語をお好みに合わせ設定することができます。

設定された言語は固定され、常時日本語で聴きたい場合に便利です。(ディスクによっては、設定した言語がない場合があります。その場合は、そのディスクの優先言語になります。)



Memo

- 変更された設定内容は書き換えられます。変更する前に現在の設定内容をメモして保管してください。設定内容は車のバッテリー電源をはずしても記憶しています。
- 一時的に今観ているディスクの言語をかえたい場合は、DVDメニューからかえるか、または「音声言語切りかえ」(32ページ)でかえることができます。
- ディスクが入っている状態で言語設定を変更した場合は、下記のいずれかを行うと設定が確定されます。
 - ・ディスクエJECT
 - ・電源をOFFにする
 - ・ソースを切りかえる
 - ・イグニッションをOFFにする

1 停止中に「SETUP」を2秒以上押す。

初期設定メニューがモニター画面に表示される。

SETUP	
LANGUAGES	
TV SCREEN	16:9
COUNTRY CODE	7480
RATING LEVEL	OFF
DOWN SAMPLING	ON
DIGITAL OUT	AUTO



Memo

- PRE-STOP中は使用できません。再生中の場合は「■」を2回押して停止状態にしてください。

2 「ジョイスティック」でLANGUAGESを選び、「ENTER」を押す。

3 「ジョイスティック」で設定項目を選び、「ENTER」を押す。

AUDIO

スピーカーから出力される音声言語が設定できる。

SUBTITLE

画面に表示される字幕言語が設定できる。

MENU LANGUAGE

タイトルメニューなどのメニュー言語が設定できる。

LANGUAGES	
AUDIO	JAPANESE
SUBTITLE	AUTO
MENU	ENGLISH

4 「ジョイスティック」で設定したい言語を選び「ENTER」を押す。

音声言語、字幕言語、メニュー言語の設定画面

ORIGINAL

ディスクに記録されている最優先の音声言語で再生される。(AUDIOのみ)

AUTO

ディスクに記録されている最優先の字幕言語で再生される。(SUBTITLE/MENU LANGUAGEのみ)

OTHERS

表示されている以外の言語で再生したいときに設定する。「0」～「9」キーで4桁の言語番号を入力し、「ENTER」を押す。言語番号は「言語コード表」(52ページ)を参照。

AUDIO (音声)

AUDIO	
ENGLISH	HUNGARIAN
JAPANESE	ITALIAN
GERMAN	YIDDISH
SPANISH	PORTUGUESE
FRENCH	RUSSIAN
HINDI	CHINESE
ORIGINAL	OTHERS 0000

SUBTITLE (字幕)

SUBTITLE	
ENGLISH	HUNGARIAN
JAPANESE	ITALIAN
GERMAN	YIDDISH
SPANISH	PORTUGUESE
FRENCH	RUSSIAN
HINDI	CHINESE
AUTO	OTHERS 0000

MENU LANGUAGE (メニュー)

MENU LANGUAGE	
ENGLISH	HUNGARIAN
JAPANESE	ITALIAN
GERMAN	YIDDISH
SPANISH	PORTUGUESE
FRENCH	RUSSIAN
HINDI	CHINESE
AUTO	OTHERS 0000



Memo

- 選んだ言語がディスクにないときは、ディスクで決められた言語になります。
- 各言語の工場出荷時の設定。
音声言語 : ORIGINAL
字幕言語 : AUTO
メニュー言語 : AUTO
- 「RETURN」を押すと1つ前の画面に戻ります。

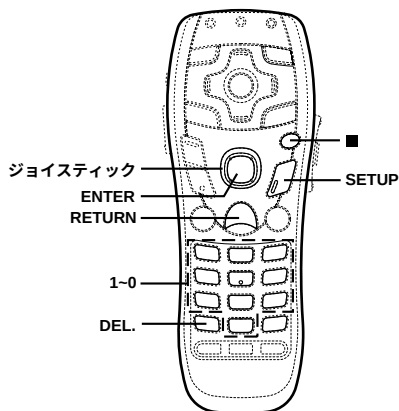
5 「SETUP」を2秒以上押す。

設定を保存し、設定モードを終了する。

本体スイッチの「SETUP」から、DVDの初期設定 (SETUP) の操作はできません。



DVDの初期設定 (SETUP)



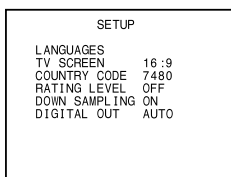
TVスクリーン設定を変更する

お使いのTVモニターに合わせて、画面の比率（アスペクト比）を設定します。



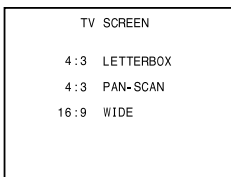
- 変更された設定内容は書き換えられます。変更する前に現在の設定内容をメモして保管してください。設定内容は車のバッテリー電源をはずしても記憶しています。

- 1 停止中に「SETUP」を2秒以上押す。
初期設定メニューがモニター画面に表示される。



- PRE-STOP中は使用できません。再生中の場合は「■」を2回押して停止状態にしてください。

- 2 「ジョイスティック」でTV SCREENを選び、「ENTER」を押す。
- 3 「ジョイスティック」でスクリーンタイプを選び、「ENTER」を押す。



4:3 LETTER BOX

従来サイズの4:3のモニターに接続した時に選ぶ。アスペクト比16:9の映像を再生した場合は、上下に黒帯が入る。



4:3 PAN-SCAN

従来サイズの4:3のモニターに接続した時に選ぶ。画面全体に表示する。(アスペクト比16:9の映像を再生した場合は、左右が切れる)



16:9 WIDE

ワイドテレビに接続したときに選ぶ。工場出荷時はWIDE。



- ディスクによっては設定した画面サイズにならない場合があります。(詳しくはディスクのジャケットに記載されている内容をご覧ください)
- 「RETURN」を押すと1つ前の画面に戻ります。

5 「SETUP」を2秒以上押す。

設定を保存し、設定モードを終了する。

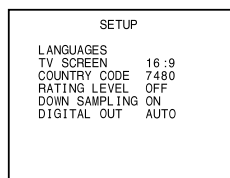
カントリーコード設定を変更する

視聴規制（パレンタルロック）を設定する時の、国番号を設定します。



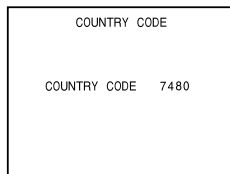
- 変更された設定内容は書き換えられます。変更する前に現在の設定内容をメモして保管してください。設定内容は車のバッテリー電源をはずしても記憶しています。

- 1 停止中に「SETUP」を2秒以上押す。
初期設定メニューがモニター画面に表示される。



- PRE-STOP中は使用できません。再生中の場合は「■」を2回押して停止状態にしてください。

- 2 「ジョイスティック」でCOUNTRY CODEを選び、「ENTER」を押す。
- 3 「ENTER」を押す。
カントリーコードがリセットされる。



4 「0」～「9」を押して4桁の数字を入力し、「ENTER」を押す。

日本 : 7480 または
アメリカ : 8583
を入力する。

COUNTRY CODE

COUNTRY CODE ####



Memo

- 「DEL」を押すたびに、1桁ずつ消去できます。また2秒以上押すと全て消去できます。
- 「RETURN」を押すと1つ前の画面に戻ります。

5 「SETUP」を2秒以上押す。

設定を保存し、設定モードを終了する。

視聴規制（パレンタルロック）を設定する

お子様などに見せたくない映像を規制することができます。



Memo

- 変更された設定内容は書き換えられます。変更する前に現在の設定内容をメモして保管してください。設定内容は車のバッテリー電源をはずしても記憶しています。

1 停止中に「SETUP」を2秒以上押す。

初期設定メニューがモニター画面に表示される。

SETUP

LANGUAGES 16:9
TV SCREEN 7480
COUNTRY CODE OFF
RATING LEVEL ON
DOWN SAMPLING AUTO
DIGITAL OUT



Memo

- PRE-STOP中は使用できません。再生中の場合は「■」を2回押して停止状態にしてください。

2 「ジョイスティック」でRATING LEVELを選び、「ENTER」を押す。

3 「ENTER」を押す。

パスワード入力モードになる。

PARENTAL PASSWORD

PASSWORD ****

4 「0」～「9」を押して4桁のパスワードを入力する。

工場出荷時は1111。

PARENTAL PASSWORD

PASSWORD ****

入力された数字は★で表示される。

5 「ENTER」を押す。

規制レベル（RATING LEVEL）入力画面を表示する。

RATING LEVEL

OFF

1 2 3 4 5 6 7 8

CHANGE PASSWORD

6 「ジョイスティック」で規制レベル値を選び「ENTER」を押す。

規制を解除したいときや、設定しないときはOFFを選ぶ。規制レベルは数字が大きいほうが高くなる。



Memo

- 「RETURN」を押すと1つ前の画面に戻ります。

7 「SETUP」を2秒以上押す。

設定を保存し、設定モードを終了する。



Memo

- パスワードを変更したい時は、CHANGE PASSWORDを選び新しいパスワード（数字4桁）を入力します。
注）パスワードは忘れないように、メモなどをして保管してください。
- 視聴制限がないDVDでは視聴規制を設定しても再生は制限できません。
- 設定した視聴規制は保持されます。違うディスクを再生したい時や視聴規制を解除したい場合は、設定を変更してください。

● テンポラリー・パレンタルレベル変更について
ディスクによっては、再生中に初期設定で設定した視聴規制レベル（パレンタルレベル）の変更を要求する場合があります。このとき、モニター画面に下記の表示をします。

静止画再生

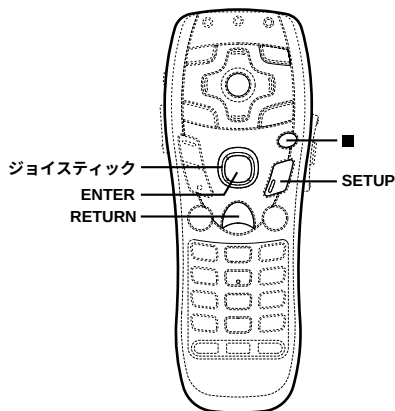
PARENTAL LEVEL
CHANGE OK?

この表示が出た場合は、下記の操作で設定してください。

- 変更したパレンタルレベルで再生する場合は、「ENTER」を押す。
- パレンタルレベルを変更しないで再生する場合は、「■」を押す。
（「■」を押した場合は、「視聴規制（パレンタルロック）」を設定する」で設定したパレンタルレベルで再生されます。）



DVDの初期設定 (SETUP)



ダウンサンプリングの設定を変更する

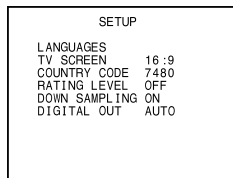
DVDディスクに記録されているリニアPCM (LPCM) の音声信号をダウンサンプリング48kHz/16bit DIGITAL信号に変換して光デジタル出力端子から出力します。



- 変更された設定内容は書き換えられます。変更する前に現在の設定内容をメモして保管してください。設定内容は車のバッテリー電源をはずしても記憶しています。

1 停止中に「SETUP」を2秒以上押す。

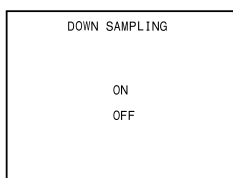
初期設定メニューがモニター画面に表示される。



- PRE-STOP中は使用できません。再生中の場合は「■」を2回押して停止状態にしてください。

2 「ジョイスティック」でDOWN SAMPLINGを選び、「ENTER」を押す。

3 「ジョイスティック」でON/OFFを選び、「ENTER」を押す。



ON

DVDディスクに記録されている96kHz/24bit, 96kHz/20bit, 96kHz/16bit, 48kHz/24bit, 48kHz/20bitサンプルで記録されたDIGITAL信号を48kHz/16bitサンプルのDIGITAL信号に変換して光デジタル出力端子より出力する。
工場出荷時はON。

OFF

DVDディスクに記録されている96kHz/24bit, 96kHz/20bit, 96kHz/16bitサンプルで記録されたDIGITAL信号を48kHz/16bitサンプルのDIGITAL信号に変換せず、光デジタル出力端子からは出力しない。但し、CSS※スクランブルON時は、48kHz/16bitサンプルのDIGITAL信号に変換して光デジタル出力端子より出力する。

※CSS：デジタルコピー防止用の暗号化規格 (Content Scrambling System)。



- 「RETURN」を押すと1つ前の画面に戻ります。

4 「SETUP」を2秒以上押す。

設定を保存し、設定モードを終了する。

デジタル出力設定を変更する

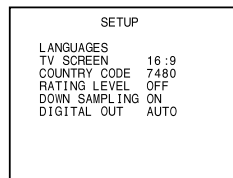
本機からの音声を設定します。



- 変更された設定内容は書き換えられます。変更する前に現在の設定内容をメモして保管してください。設定内容は車のバッテリー電源をはずしても記憶しています。

1 停止中に「SETUP」を2秒以上押す。

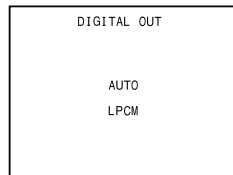
初期設定メニューがモニター画面に表示される。



- PRE-STOP中は使用できません。再生中の場合は「■」を2回押して停止状態にしてください。

2 「ジョイスティック」でDIGITAL OUTを選び、「ENTER」を押す。

3 「ジョイスティック」で出力モードを選び、「ENTER」を押す。



AUTO

再生中の音声の記録方式に従いデジタル出力を自動で切りかえる。デジタルオーディオプロセッサと接続し、ドルビーデジタル音声で再生したい時は、必ず、AUTOにする。工場出荷時はAUTO。



●「RETURN」を押すと1つ前の画面に戻ります。

4 「SETUP」を2秒以上押す。

設定を保存し、設定モードを終了する。

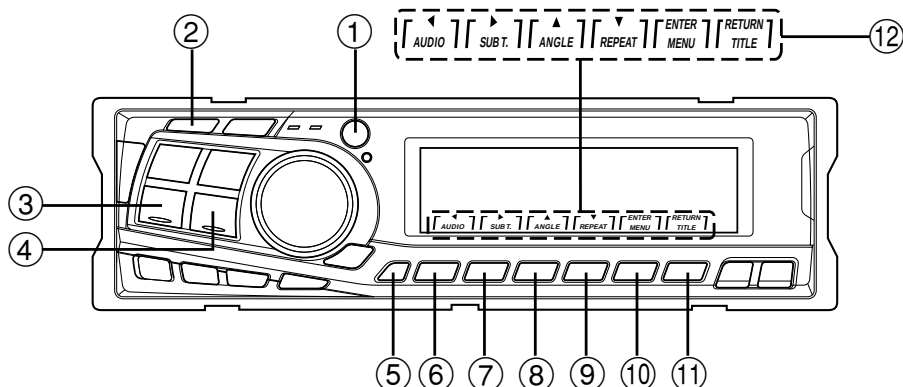
LPCM

ディスクに記録されている音声を48kHz/16bit (DVD) または44.1kHz (ビデオCD、CD) のリニアPCM音声に変換して出力する。

● 音声出力/光デジタル音声出力について

ディスク	音声記録方式		デジタル出力設定	ダウンサンプリング 設定	光デジタル音声出力 (デジタルオーディオプロセッサ接続時)	アナログ音声出力 (Ai-NET、RCA出力)	
DVD	DTS		AUTO	ON	DTSエレメンタリ ストリーム	○	
				OFF	DTSエレメンタリ ストリーム	○	
			LPCM	ON	LPCMエンコード2chダウンミクス (48kHz/16bit)	○	
				OFF	LPCMエンコード2chダウンミクス (48kHz/16bit)	○	
	ドルビーデジタル		AUTO	ON	ドルビーデジタル	○	
				OFF	ドルビーデジタル	○	
			LPCM	ON	LPCM (48kHz/16bit)	○	
				OFF	LPCM (48kHz/16bit)	○	
	リニアPCM	48kHz/16bit	AUTO	ON	LPCM (48kHz/16bit)	○	
				OFF	LPCM (48kHz/16bit)	○	
			LPCM	ON	LPCM (48kHz/16bit)	○	
				OFF	LPCM (48kHz/16bit)	○	
		48kHz/20bit	AUTO	ON	LPCM (48kHz/16bit)	○	
				OFF	LPCM (48kHz/16bit)	○	
			LPCM	ON	LPCM (48kHz/16bit)	○	
				OFF	LPCM (48kHz/16bit)	○	
		48kHz/24bit	AUTO	ON	LPCM (48kHz/16bit)	○	
				OFF	LPCM (48kHz/16bit)	○	
			LPCM	ON	LPCM (48kHz/16bit)	○	
				OFF	LPCM (48kHz/16bit)	○	
		96kHz/16bit	AUTO	ON	LPCM (48kHz/16bit)	○	
				OFF	CSSスクランブルON時: LPCM (48kHz/16bit) CSSスクランブルOFF時: 出力しない	○	
			LPCM	ON	LPCM (48kHz/16bit)	○	
				OFF	CSSスクランブルON時: LPCM (48kHz/16bit) CSSスクランブルOFF時: 出力しない	○	
			96kHz/20bit	AUTO	ON	LPCM (48kHz/16bit)	○
					OFF	CSSスクランブルON時: LPCM (48kHz/16bit) CSSスクランブルOFF時: 出力しない	○
				LPCM	ON	LPCM (48kHz/16bit)	○
					OFF	CSSスクランブルON時: LPCM (48kHz/16bit) CSSスクランブルOFF時: 出力しない	○
		96kHz/24bit	AUTO	ON	LPCM (48kHz/16bit)	○	
				OFF	CSSスクランブルON時: LPCM (48kHz/16bit) CSSスクランブルOFF時: 出力しない	○	
			LPCM	ON	LPCM (48kHz/16bit)	○	
				OFF	CSSスクランブルON時: LPCM (48kHz/16bit) CSSスクランブルOFF時: 出力しない	○	
MPEG2		AUTOまたはLPCM	ONまたはOFF	LPCM (48kHz/16bit)	○		
ビデオCD	MPEG1		AUTOまたはLPCM	ONまたはOFF	LPCM (44.1kHz)	○	
CD	リニアPCM		AUTOまたはLPCM	ONまたはOFF	LPCM (44.1kHz)	○	
	DTS		AUTO	ON	DTSエレメンタリ ストリーム	○	
				OFF	DTSエレメンタリ ストリーム	○	
			LPCM	ON	LPCMエンコード2chダウンミクス (44.1kHz/16bit)	○	
				OFF	LPCMエンコード2chダウンミクス (44.1kHz/16bit)	○	
MP3	MPEG Audio Layer3 ビットレート： 32kbps～ 320kbps	32kHz/16bit	AUTOまたはLPCM	ONまたはOFF	LPCMエンコード2ch (32kHz/16bit)	○	
		44.1kHz/16bit	AUTOまたはLPCM	ONまたはOFF	LPCMエンコード2ch (44.1kHz/16bit)	○	
		48kHz/16bit	AUTOまたはLPCM	ONまたはOFF	LPCMエンコード2ch (48kHz/16bit)	○	

本体ノーズスイッチからDVD/ビデオCDを操作する



① 「Rear DVD」スイッチ (→P34)

リアDVD機能の設定を切りかえる。
2秒以上押しで、リモコン受光部を切りかえる。

② 「▶/■」スイッチ (→P29,30)

一時停止/再生。

③ 「◀◀ DN」スイッチ (→P29)

- 映像の頭出しをする。
- 再生中に1秒以上押しで2倍速早戻し、その状態で5秒以上押し続けると8倍速で映像を早戻しする。

④ 「▶▶ UP」スイッチ (→P29, 30)

- 映像の頭出しをする。
- 再生中に1秒以上押しで2倍速早送りし、その状態で5秒以上押し続けると8倍速で映像を早送りする。
- 一時停止中に押し続けると、1/8倍速でスローモーション再生をする。さらにその状態で5秒以上押し続けると1/2倍速でスローモーション再生をする。
- 一時停止中に1回押しごとにコマ送り再生をする。

⑤ 「F」スイッチ

押すごとにDVD/ビデオCDインジケータース上段・下段のモード操作が切りかわる。

⑥ 「1」スイッチ

- DVDモード時
インジケータース上段(◀): 画面に表示される項目を選択(左方向)。
インジケータース下段(AUDIO): 音声を切りかえる (→P32)
- ビデオCDモード時
インジケータース上段(◀): 使用できません。
インジケータース下段(AUDIO): 音声を切りかえる (→P32)

⑦ 「2」スイッチ

- DVDモード時
インジケータース上段(▶): 画面に表示される項目を選択(右方向)。
インジケータース下段(SUB T.): 字幕を切りかえる (→P32)
- ビデオCDモード時
インジケータース上段(▶): 使用できません。
インジケータース下段(SUB T.): 使用できません。

⑧ 「3」スイッチ

- DVDモード時
インジケータース上段(▲): 画面に表示される項目を選択(上方向)。
インジケータース下段(ANGLE): 映像のアングルを切りかえる。(→P32)
- ビデオCDモード時
インジケータース上段(▲): 使用できません。
インジケータース下段(ANGLE): 使用できません。

⑨ 「4」スイッチ

- DVDモード時
インジケータース上段(▼): 画面に表示される項目を選択(下方向)。
インジケータース下段(REPEAT): 繰り返し再生。(→P31)
- ビデオCDモード時
インジケータース上段(▼): 使用できません。
インジケータース下段(REPEAT): 繰り返し再生。(PBC OFF時のみ) (→P31)

⑩ 「5」スイッチ

- DVDモード時
インジケータース上段(ENTER): 画面に表示される項目を決定。
インジケータース下段(MENU): DVDメニューを表示。
- ビデオCDモード時
インジケータース上段(ENTER): 使用できません。
インジケータース下段(MENU): PBC ON/OFF切りかえ。(PBC機能付きビデオCDのみ)。

⑪ 「6」スイッチ

- DVDモード時
インジケータース上段(RETURN): ひとつ前の選択画面へ戻す。
インジケータース下段(TITLE): タイトルメニューを表示。
- ビデオCDモード時
インジケータース上段(RETURN): ひとつ前の選択画面へ戻す。(PBC ON時のみ)。
インジケータース下段(TITLE): 使用できません。

⑫ DVD/ビデオCDインジケータース

DVDまたはビデオCD再生時にインジケータースが点灯。

- インジケータース上段
DVD再生時に「F」を1回押し、「1」～「6」を押すと上段インジケータースの操作(リモコンのジョイスティック↑↓←→、ENTERとRETURN)と同じ操作ができる。
但し、ビデオCD再生時(PBC ON時)は、RETURNのみ操作ができる。
- インジケータース下段
DVD/ビデオCD再生時に「1」～「6」を押すと下段インジケータースの操作ができる。但し、ビデオCD再生時は、AUDIO、MENU(PBC機能付きビデオCDのみ)、REPEAT(PBC OFF時のみ)操作ができる。

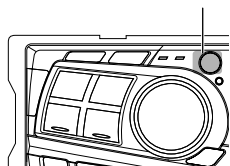


● ディスクによっては操作できない場合があります。

リモコン操作

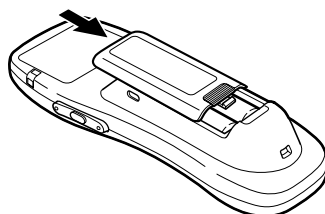
使用時のご注意

リモコンセンサー部 (■ 部分)



- リモコンは、リモコン送信部をリモコンセンサーに向け2メートル以内でお使いください。
- リモコンセンサーに直射日光が当たっていると、操作できない場合があります。
- リモコンは小型軽量の精密機械です。破損、電池の早期消耗、誤動作や操作感の悪化の原因にならないよう、次の点に注意してお使いください。
衝撃を加えない・ズボンのポケットに入れない・飲み物をかけない・湿気やホコリを避ける・直射日光の当たる場所に置かないでください。

- 3 フタを閉める。
フタを置いてカチリと音がするところまで差し込む。



● 電池は単4乾電池 (UM-4) × 2をご使用ください。

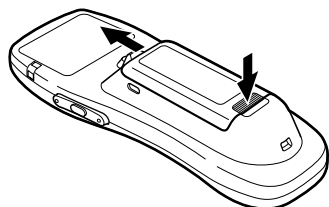


警告

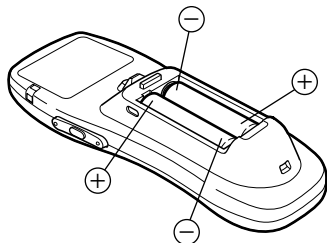
運転中は操作をしたり、画面を見たりしないでください。事故・ケガの原因になります。操作や画面を見る場合には、安全な場所に停車してください。

電池を入れる

- 1 フタを開ける。
図のみその部分を押し下げながら前方へ押ししてフタをはずす。



- 2 電池を入れる。
本体の ⊕、⊖ 表示通り入れる。



別売のナビゲーション/ TVモニターを操作する

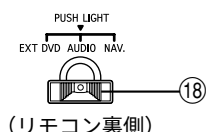
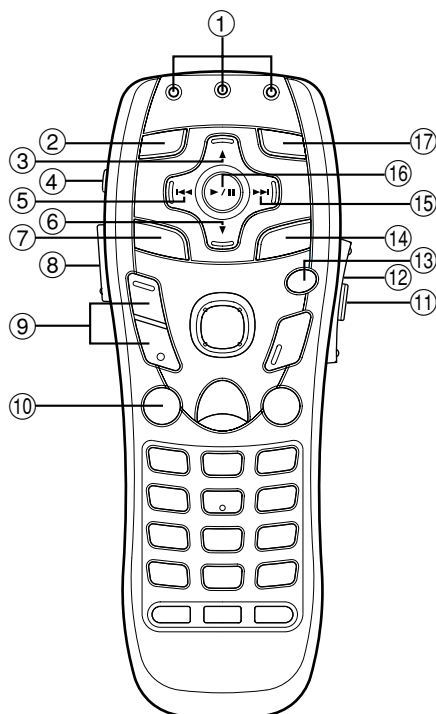
- 別売の当社ナビゲーション、TVモニターを操作するときは、リモコン裏側にあるモード切りかえスイッチを「NAV.」に切りかえてください。
- 添付のリモコン操作シールは、お使いのナビゲーション、TVモニターにあったシールをリモコン裏側に貼りつけてご使用ください。



● 製品によっては、操作が異なったり操作できない場合があります。お使いになる製品の取扱説明書も合わせてご覧ください。

本機のオーディオを操作する

本機のオーディオを操作するときは、モード切りかえスイッチを「AUDIO」側に切りかえてください。

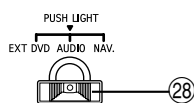
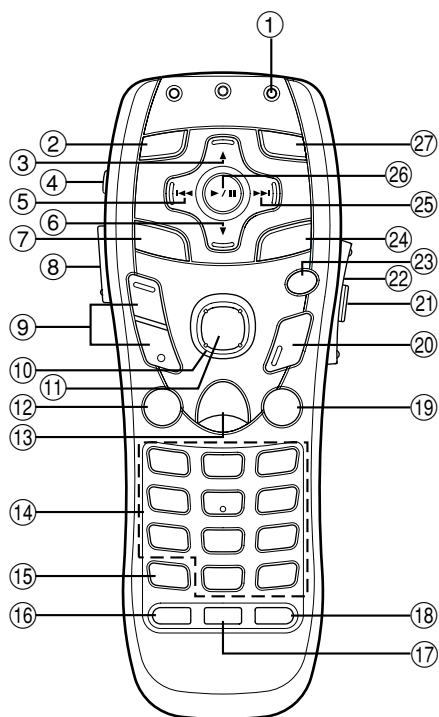


- ① **AUDIO/NAV./EXT DVDインジケータ**
モード切りかえスイッチを切りかえると、各モードのインジケータが数秒点灯する。
- ② **A.PROC.ボタン**
Ai-NET対応オーディオプロセッサモードの切りかえ。
- ③ **▲ ボタン**
ラジオモード：プリセットUP
CDチェンジャーモード：ディスクUP
MP3モード：フォルダーUP
- ④ **POWERボタン**
POWERのON/OFF
- ⑤ **◀◀ ボタン**
ラジオモード：SEEK DOWN
CD/チェンジャーモード：トラック DOWN
押し続けると早戻し
MP3モード：ファイル DOWN
押し続けると早戻し
- ⑥ **▼ ボタン**
ラジオモード：プリセットDOWN
CDチェンジャーモード：ディスクDOWN
MP3モード：フォルダーDOWN

- ⑦ **V.SELボタン**
別売モニターなどを組み合わせた場合に、画面の切りかえを行う。
- ⑧ **LIGHTボタン**
照光部分が点灯。
- ⑨ **ANGLE ∧ / ∨ ボタン**
ディスプレイ角度調整
- ⑩ **REARボタン**
2秒以上押しで、リモコン受光部切りかえ。
- ⑪ **MUTEボタン**
瞬時に音量が下がる。再度押すと解除する。
- ⑫ **VOLUME ∧ / ∨ ボタン**
音量を調整
- ⑬ **■ ボタン**
停止する。
- ⑭ **SOURCEボタン**
ソース切りかえ。
- ⑮ **▶▶ ボタン**
ラジオモード：SEEK UP
CD/チェンジャーモード：トラック UP
押し続けると早送り
MP3モード：ファイル UP
押し続けると早送り
- ⑯ **▶/|| ボタン**
プレイ/ポーズを切りかえる。
- ⑰ **BANDボタン**
ラジオモード：バンド切りかえ
CD/MP3/チェンジャーモード：ディスクモード切りかえ
- ⑱ **モード切りかえスイッチ**
本機を操作する場合は「AUDIO」側に切りかえる。
別売のDVD製品を操作する場合は「EXT DVD」側に切りかえる。
別売のナビゲーション製品を操作する場合は「NAV.」側に切りかえる。
押すと照光部分が点灯する。

別売のDVDプレイヤー/DVDチェンジャーを操作する

別売の当社DVDプレイヤー/DVDチェンジャーを操作するときは、モード切りかえスイッチを「EXT DVD」側に切りかえてください。



(リモコン裏側)

- ① **EXT DVDインジケータ**
モード切りかえスイッチを「EXT DVD」側に切りかえるとインジケータが数秒点灯する。
- ② **A.PROC.ボタン**
Ai-NET対応オーディオプロセッサモードの切りかえ。
- ③ **▲ ボタン**
ディスクNo. UP(DVDチェンジャーのみ)
- ④ **POWERボタン**
POWERのON/OFF
5秒以上押しで、NTSC/PALを切りかえる。
- ⑤ **◀◀ ボタン**
映像や音楽の頭出しをする。
2秒以上押しで、映像や音楽を早戻しする。
- ⑥ **▼ ボタン**
ディスクNo. DOWN(DVDチェンジャーのみ)
- ⑦ **V.SELボタン**
TVやDVD映像などの画面切りかえを行う。
- ⑧ **LIGHTボタン**
照光部分が点灯。

- ⑨ **ANGLE ∧ / ∨ ボタン**
DVA-7899Jのディスプレイ角度調整
- ⑩ **ジョイスティック**
画面に表示される項目を選択。
- ⑪ **ENTERボタン**
選択した項目の決定。
- ⑫ **REARボタン**
別ソースのときにDVD映像をモニターに出力する。
- ⑬ **RETURNボタン**
ひとつ前の選択画面に戻す。
- ⑭ **10キー**
数字の入力。
- ⑮ **DEL.ボタン**
選択/入力した数字を1文字ずつ取り消す。2秒以上押しで、選択/入力した数字を全文字消去する。
- ⑯ **AUDIOボタン**
音声を切りかえる。
- ⑰ **SUB T.ボタン**
字幕を切りかえる。
2秒以上押しで、字幕表示のON/OFF。
- ⑱ **ANGLEボタン**
アングルを切りかえる。
- ⑲ **DISP/TITLEボタン**
チャプター/トラック/経過時間での頭出し。
2秒以上押しで、タイトルメニューを表示する。
- ⑳ **MENU/SETUPボタン**
DVDメニューを表示。
2秒以上押しで、SETUP（初期設定）画面を呼び出す。
- ㉑ **MUTEボタン**
DVA-7899Jの音量を瞬時に下げる。再度押すと解除する。
- ㉒ **VOLUME ∧ / ∨ ボタン**
DVA-7899Jの音量を調整する。
- ㉓ **■ ボタン**
PRE STOPする。再度押すとPRE STOPを解除し再生を止める。
- ㉔ **SOURCEボタン**
ソース切りかえ。
- ㉕ **▶▶ ボタン**
映像や音楽の頭出しをする。
2秒以上押しで、映像や音楽を早送りする。
- ㉖ **▶/■ ボタン**
再生する。
2秒以上押しで、スローモーション再生する。
- ㉗ **BANDボタン**
オーディオ側のバンドまたはディスクモードの切りかえ。
- ㉘ **モード切りかえスイッチ**
接続したDVDプレイヤー/DVDチェンジャーを操作する場合は「EXT DVD」側に切りかえる。



● ディスクまたは再生状態によっては、その操作を受け付けない場合があります。その時はモニター画面に ⊙ マークを表示します。

✂ 取り付けと接続

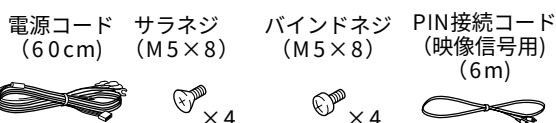
取り付けや接続の作業を行う前には、必ず2～3ページをよくお読みの上、正しい作業をしてください。説明書の指示を守らなかった事による不具合に対して、当社は責任を負いかねます。

1. 正しい作業のコツ

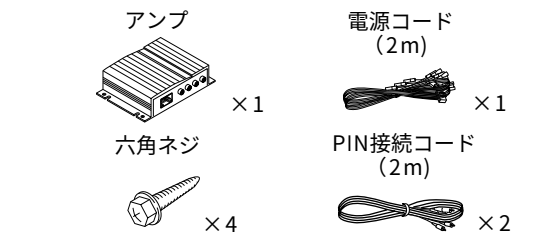
- ここからの説明は、専門技術と経験のある方を対象にしています。
- 車のインパネなどの「取り付け取り外し情報」を販売店から入手してください。
- 動作確認の際に本機の操作を行いますので、本説明書の操作説明部も必ずお読みください。
- 組み合わせる製品の取付説明書も合わせてご覧ください。
- コンピューターが装着されている車は、バッテリーのマイナス端子を外すとメモリーが消えてしまうことがあります。
- 一部の車種（外国車など）では、バッテリーのマイナス端子を外すと、電装系に不具合が生じる場合があります。詳しくは、ディーラーへお問い合わせください。
- 接続の際は、コードに付いているラベルや本説明書を確認しながら、注意して行ってください。
- 音声出力ケーブルを接続するときは、コード端子の色とターミナルの色を合わせてください。
 - RCAコード、ピンコード
家庭用機器の信号の受け渡しに利用されるRCA考案のコネクタ付きコードをいいます。カーオーディオはもちろん家庭のステレオ／ビデオ／テレビ等に幅広く採用されています。白がオーディオの左チャンネル、赤が右チャンネル、黄色がビデオ信号です。
- スピーカーの接続
 - 純正のスピーカー用コードを使う場合、左右のコードのマイナス側が共通になっているものには使用できません。
 - スピーカーは、インピーダンスが $3.2\sim 8\Omega$ のものをお使いください。
- 接続しないコードは、コードの端にビニールテープを巻いてください。
- 取り付け場所について
ディスクの出し入れの際、車のシフト操作に支障がないことを確認のうえ、取り付け場所を設定してください。
- 水平に対して 35 度以内に取り付けてください。
- 不明な点はお買い上げ店／インフォメーションセンターにお問い合わせください。

2. 準備

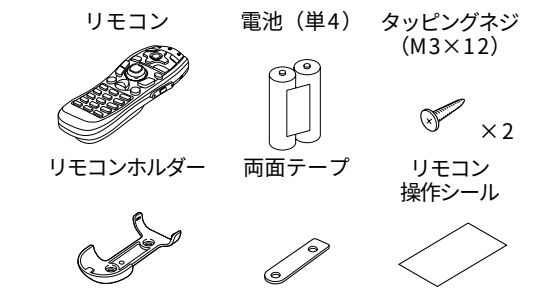
- 車を平坦で安全な場所に停める。さらに、パーキングブレーキをかけ、イグニッションキーを抜く。
- 付属部品を確認し、工具／取り付け情報をそろえる。



アンプ用部品



リモコン用部品



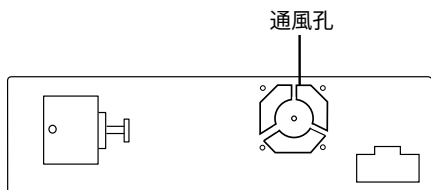
- バッテリーのマイナス端子を外す。
- 灰皿、小物入れなどを外し、パネル（インパネ）を外す。
- 車から取り付けブラケットごとカーオーディオを外す。
- オーディオに付いているケーブルを外し、ブラケットからオーディオを外す。（ブラケットは、4. 本機を取り付ける 2. で利用します。）

3. 接続する

- 47ページの基本接続図を参照して接続する。
 - 他の製品と組み合わせた接続例も記載しています。御希望の組み合わせを確認しながら作業を進めてください。
 - 誤接続を防ぐために、接続するごとに✓点をつけてください。
- ヘッドユニットに電源コードを接続する。
「カチッ」と音がするまで差し込む。
- 正しく接続されているか、✓点 がもれているところはないか確認する。
- バッテリーマイナス端子を接続する。
- イグニッションキーをONにして本機電源を入れ、音が正しく出ているかなどを確認する。
 - 固定する前に動作確認しておけば安心です。正しい動作をしない場合は、もう一度接続を確認してください。
- 本機の電源を切る。
- イグニッションキーを抜いて、バッテリーマイナス端子を外す。

4. 本機を取り付ける

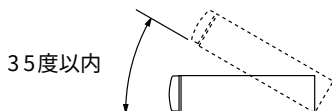
⚠ 注意 通風孔や放熱版をふさがない。
通風孔・放熱版をふさがないでください。通風孔・放熱版をふさぐと内部に熱がこもり、火災・故障の原因になります。



<DVA-7899J製品裏側>

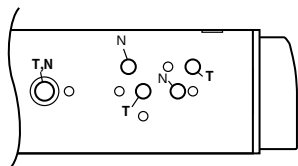
取り付けの際は必ず、フロントパネルを付けた状態で行ってください。フロントパネルを外した状態で取り付けると故障の原因となります。

1. ディスクの出し入れの際、車のシフト操作に支障がないことを確認のうえ、取り付け場所を決める。

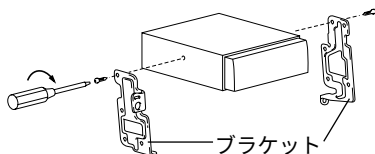


2. 本機にブラケットを付属のネジでしっかり取り付ける。

取り付け用ネジ穴



N穴→ニッサン車専用
T穴→トヨタ・ミツビシ車専用



3. 「ブラケットと一体になった本機」を車両にしっかり取り付ける。
4. インパネを取り付ける。
5. コード類を固定する。
シートレールなどの可動部に挟み込んだり、突起部に当たったりして、コードを傷めないように注意して固定する。
6. バッテリーマイナス端子を接続する。



- 車両雑音から守るために
- ・アースコードを車体の金属部分に確実につなぐ。(ノイズが出るときはアースの場所をかえてみる)
- ・本機や本機からのコードを車両配線から離す。
- ・バッテリー電源コードとPINコードは離す。
- ・ノイズサプレッサーを使う場合は、できるだけ本機から離す。

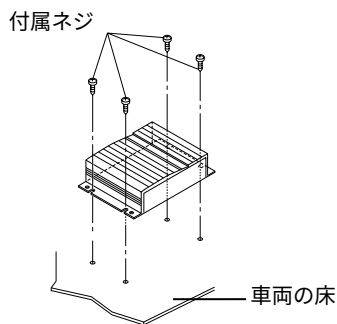
5. 付属アンプを取り付ける

- 付属ネジを使って取り付ける

1. 取り付ける位置にアンプを置き、穴をあける箇所に印をつける。
・穴を開けても支障がないことを確認します。

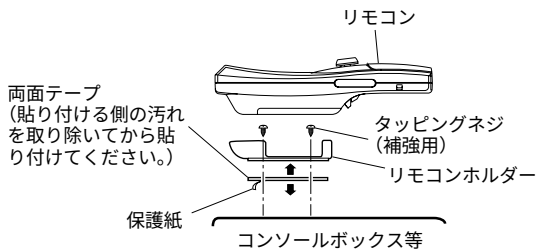
⚠ 警告 車体に穴を開ける場合には、パイプ・タンク・電気配線などを傷つけないでください。事故・火災の原因になります。

2. 穴をあけ、付属ネジ4本でしっかりとアンプを固定します。



6. リモコンホルダーを取り付ける

- リモコンに直射日光が当たるときは、ホルダーから外してグローブボックスに保管してください。
- 両面テープで確実な取り付けができない場合は、付属ネジを使って取り付けてください。



⚠ 警告 助手席エアバッグの近くにリモコンホルダーを取り付けない。
不適切な取り付けをしますと、エアバッグが正常に動作しなかったり、動作したエアバッグで部品が飛ばされ、事故やケガの原因になることがあります。

7. 確認する

1. イグニッションキーをONにして、本説明書を参考に本機の動作が正しいことを確認する。
2. ホーン（クラクション）、ストップランプなどの車両電装品が正しく動作することを確認する。



Memo

IN-INTの接続について

IN-INTコードは次の組み合わせ時に使用します。

- **音声認識対応のナビゲーションと組み合わせる。**
音声認識対応のナビゲーションのミュートコードに接続します。
音声認識操作のとき本機の音量をミュートさせます。
詳しくはナビゲーション側の説明書を参照してください。
- **OUT-INT対応の製品と組み合わせる**
Ai割り込みBOX（NVE-K200）、またはAi-RCA変換ケーブル（KCA-121B）などとOUT-INT対応のTV（TVE-T038など）を組み合わせ使用するとき接続します。
TVの音声を本機に割り込ませます。
詳しくは組み合わせる製品の説明書を参照してください。

スイッチ切りかえについて

スイッチを理解する。

取り付け前やシステムアップを行うとき、スイッチの切りかえが必要になる場合があります。

切りかえは次の手順で行ってください。

- 1) 電源コードを抜く。
- 2) 棒状のものを垂直に挿入する。
- 3) 指定のポジションに切りかえる。
- 4) 電源コードを接続する。

システムスイッチ

本機にAi-NET対応のイコライザー（DVA-7899J 本機の底面部）を接続するときは、「EQ/DIV」側に切りかえます。

Ai-NET



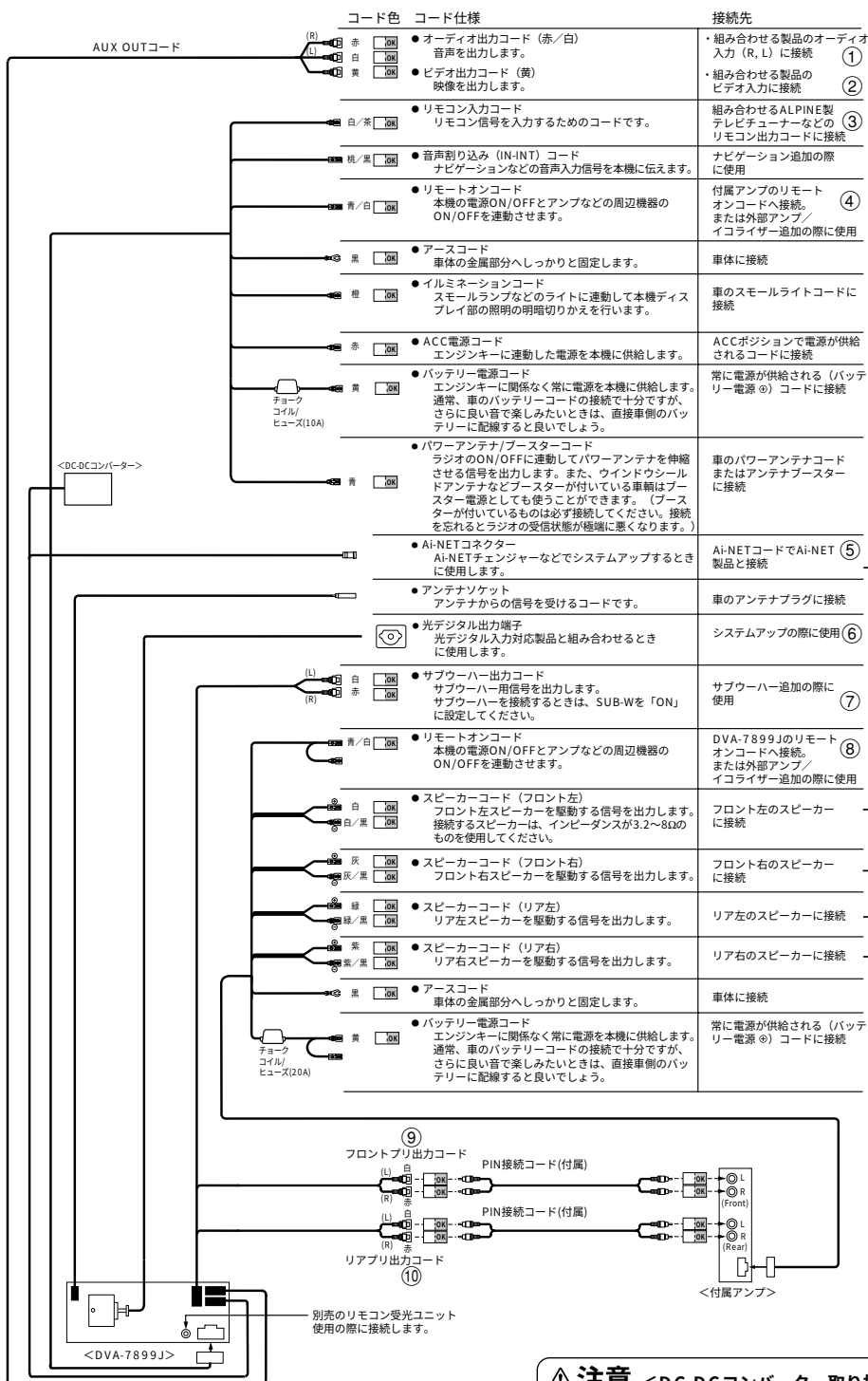
NORM EQ/DIV
(出荷時)



Memo

- チェンジャーのみを接続する（Ai-NET対応イコライザーを使わない）場合、システムスイッチは「NORM」に設定してください。

本機と付属アンプ、スピーカー、チェンジャーを接続する基本的な接続です。



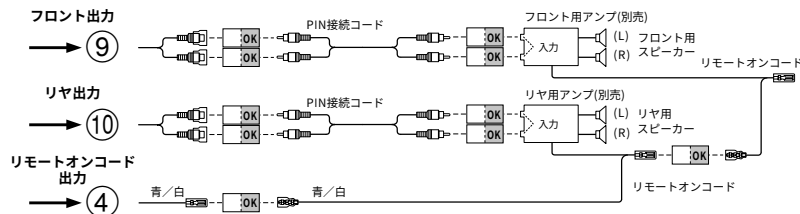
⚠ 注意 <DC-DCコンバーター取り扱い上のご注意>

- DC-DCコンバーターはフロアマットの下やエアコンなどの水がかかりやすい場所へは設置しないでください。故障の原因になります。
- DC-DCコンバーターのケーブルは他のオーディオケーブルといっしょに束ねないでください。雑音の要因になります。
- DC-DCコンバーターは熱を持ちますが、故障ではありません。

他製品との接続

1) 外部アンプを接続する

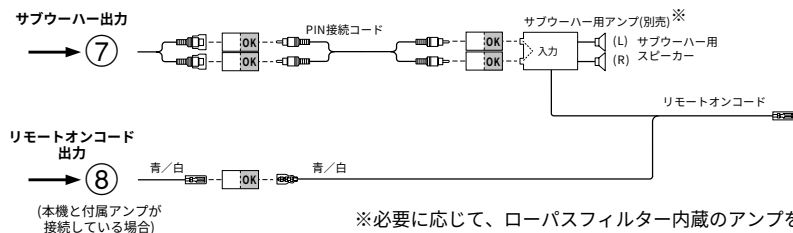
システムスイッチ	NORM
----------	------



2) サブウーハーアンプを接続する

システムスイッチ	NORM
----------	------

Memo ●「サブウーハーを接続する」(24ページ)を参照してください。

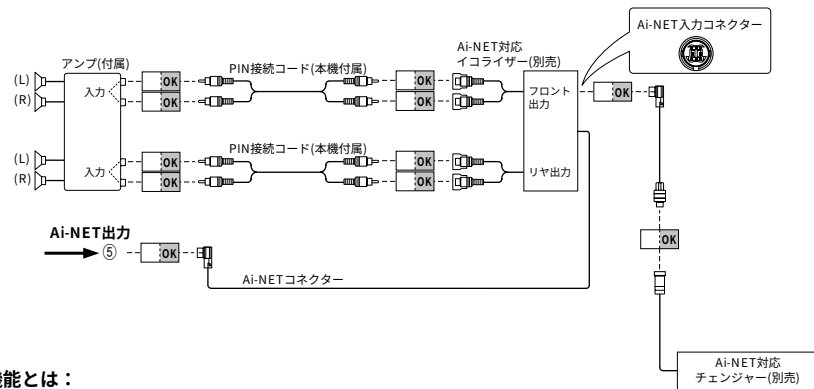


※必要に応じて、ローパスフィルター内蔵のアンプを使用してください。

3)-1 Ai-NET対応イコライザーおよびチェンジャーを接続する (付属アンプ使用時)

システムスイッチ	EQ/DIV
----------	--------

この場合、トーンコントロールは、イコライザー側でのみ行えます。
(トーンバイパス機能)※



※ トーンバイパス機能とは：
ヘッドユニットのトーンコントロール回路を使わず、イコライザーのトーンコントロール回路だけで調整することです。

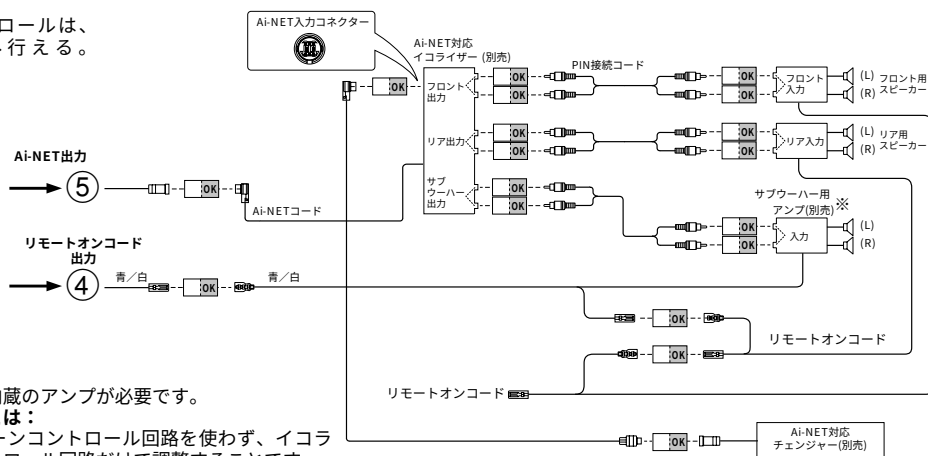
3)-2 Ai-NET対応イコライザーおよびチェンジャーを接続する（外部アンプ使用時）

システムスイッチ	EQ/DIV
----------	--------



● チェンジャーのみを接続する（Ai-NET対応イコライザーを使わない）場合、システムスイッチは「NORM」に設定してください。

この場合、トーンコントロールは、イコライザー側でのみ行える。（トーンバイパス機能）※※



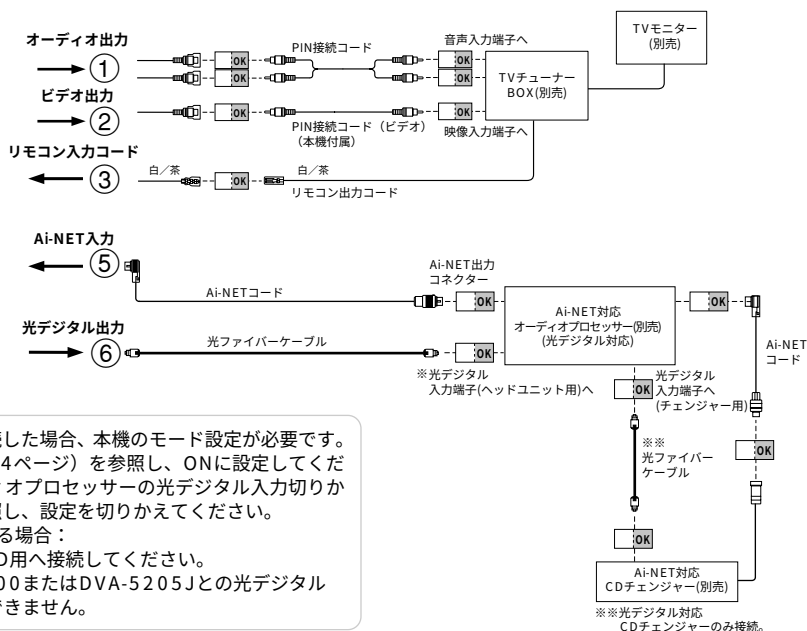
※ ローパスフィルター内蔵のアンプが必要です。

※※ トーンバイパス機能とは：

ヘッドユニットのトーンコントロール回路を使わず、イコライザーのトーンコントロール回路だけで調整することです。

4) Ai-NET対応オーディオプロセッサ（光デジタル対応）およびTVモニター、チェンジャーを接続する

システムスイッチ	EQ/DIV
----------	--------



● 光デジタル対応の製品を接続した場合、本機のモード設定が必要です。「デジタルアウトの設定」（24ページ）を参照し、ONに設定してください。その後「外部オーディオプロセッサの光デジタル入力切り替え設定」（24ページ）を参照し、設定を切りかえてください。

● ※ PXA-H510と組み合わせる場合：

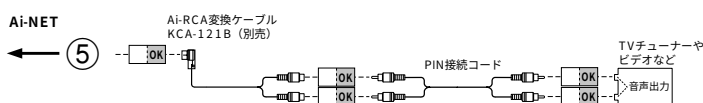
- ・ 光デジタル入力端子はDVD用へ接続してください。
- ・ DVD-7899JとDVA-5200またはDVA-5205Jとの光デジタルを使用しての同時接続はできません。

5) 外部入力にビデオなどを接続する

システムスイッチ	NORM
----------	------



● 「外部入力の設定」（25ページ）を参照してください。



KCA-410C（Versatile Link Terminal）と組み合わせると、チェンジャー2台、テレビやビデオなど（外部入力）2台、計4台の製品を接続することができます。詳しくはKCA-410Cの説明書を参照してください。



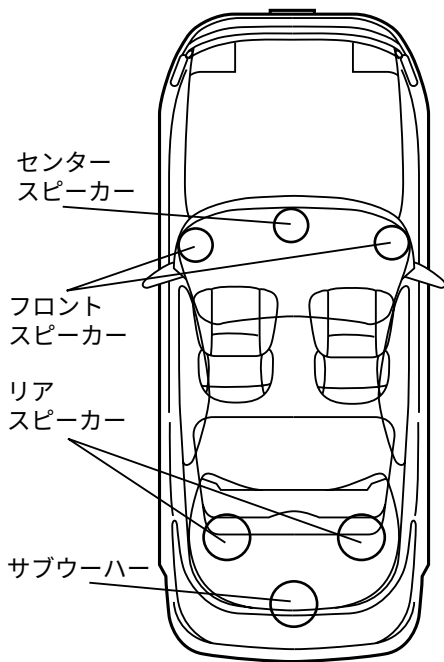
用語解説

ドルビーデジタル

ドルビーデジタルはドルビー研究所が開発したデジタルオーディオ圧縮技術で、大量のオーディオデータを効率的にディスクに記録できるようにします。モノラル（1チャンネル）から5.1チャンネルのサラウンドサウンドにいたるすべてのオーディオ信号に適合しています。異なるチャンネルへの信号は完全に独立し、さらに高品質のデジタルサウンドのため音質の低下はまったくありません。

※完全な5.1チャンネル・サラウンドサウンドを楽しむには、別売のデジタルオーディオプロセッサ（PXA-H900/PXA-H510/PXA-H700）が必要です。

DVA-7899Jは、ドルビーデジタルのデコードを行い、アナログオーディオ信号を出力します。その場合は2チャンネルオーディオで5.1チャンネルではありません。



ドルビーデジタル/DTSを楽しむためのスピーカーレイアウト

DTS

デジタル・シアター・システムズ社が開発した映画館用の高音質サラウンドシステム「DTSサウンドシステム」の家庭用デジタルサラウンドフォーマットです。

DTSは6本の独立した音声トラックを持ち、劇場公開映画などで使われている高品位の臨場感あふれるDTSサラウンドを楽しめます。

DTSはDigital Theater Systemの略。

※DTSサラウンドを楽しむには別売のDTSデジタルオーディオプロセッサ（PXA-H900/PXA-H700）が必要です。また、DVDビデオソフトもDTSに対応したものをお使いください。

DVA-7899Jは、DTS2チャンネルデコーダを内蔵しており、アナログ信号を出力します。

PRO LOGIC

PRO LOGICは、ドルビーサラウンドでエンコードされたプログラムをデコードするときに用いられる技術です。PRO LOGICデコーディングによって、2チャンネル（ステレオ）のソースから4チャンネル（フロント左右、中央、およびモノラルリアサラウンド）のサウンドを提供します。

※PRO LOGICサウンドを楽しむには、別売のデジタルオーディオプロセッサ（PXA-H900/PXA-H510）が必要です。

Dolby PRO LOGIC II

Dolby PRO LOGIC IIは、2チャンネルソースを5チャンネルで全帯域再生します。それを行うのが、ソースにない音や音の色付けを加えることなく、オリジナル録音の空間的特質を引き出す先進的で高音質のマトリックスサラウンドデコーダです。

※Dolby PRO LOGIC II サウンドを楽しむには、別売のデジタルオーディオプロセッサ（PXA-H700）が必要です。

リニアPCM音声(LPCM)

音楽CDに用いられている信号記録方式。音楽CDでは44.1kHz/16bitで記録されているのに対し、DVDでは48kHz/16bit～96kHz/24bitで記録されていますので、音楽CDよりも高音質の再生ができます。

視聴規制（パレンタルロック）

国ごとに規制した視聴年齢制限をするためのDVDの機能。DVDにより制限のしかたは異なり、全く再生できない場合や、過激な場面をとばしたり、差し替えたりして再生します。

Q 画面サイズを大きくできないの？

画面サイズを大きくするには、TVモニター側で調整してください。

A

ALPINE製ワイドモニターの場合は、ZOOMモードまたはシネマモードにすると画面いっぱいに映像が映しだされます。

※ソフトによっては、画面の端が切れたり、縦横の比率が変わる場合がありますので、お好みで設定してください。TVモニター側の取扱説明書もあわせてご覧ください。

Q どんなディスクが再生できますか？

DVD-ROM、DVD-R、DVD-RW、CD-ROM (MP3ファイルを除く)、フォトCD、ナビゲーション専用ディスクなどは再生方式が異なるため再生できません。

また、海外で購入したDVDビデオでもリージョンコードやカラーテレビ方式が異なる場合がありますので注意してください。

再生可能なディスクについては4ページをご覧ください。

Q 電源をOFFにしてもDVDビデオを続きから観れますか？

A

本機はプレイポジションメモリ機能を搭載しています。再生中に電源またはイグニッションキーをOFFにしたり、ソースを切りかえても次に電源をONすると続きから再生します。

Q ビデオCDがメニュー画面のまま再生できないけど再生するにはどうするの？

A

ビデオCDにはプレイバックコントロール(PBC)付きのものが 있습니다。

このディスクの場合はメニュー画面から再生したいトラックを選ばないと再生できません。また、MENUボタンを押してPBCを解除することもできます。その場合は音楽CDと同様の再生ができます。

Q リモコンで操作した時に ⓪ マークが表示されて操作できないけど故障なの？

A

本機では、リモコンなどから操作した時にディスクや操作状態によって、その操作を受け付けない場合があります。

言語コード表

(詳しくは35ページをご覧ください。)

記号	コード	言語
AA	6565	アフガル語
AB	6566	アブバジア語
AF	6570	アフリカーンス語
AM	6577	アムハラ語
AR	6582	アラビア語
AS	6583	アッサム語
AY	6589	アイマラ語
AZ	6590	アゼルバイジャン語
BA	6665	バシキール語
BE	6669	ベラルーシ語
BG	6671	ブルガリア語
BH	6672	ビハーリー語
BI	6673	ビスラマ語
BN	6678	ベンガル語、バングラ語
BO	6679	チベット語
BR	6682	ブルトン語
CA	6765	カタロニア語
CO	6779	コルシカ語
CS	6783	チェコ語
CY	6789	ウエールズ語
DA	6865	デンマーク語
DE	6869	ドイツ語
DZ	6890	ブータン語
EL	6976	ギリシャ語
EN	6978	英語
EO	6979	エスペラント語
ES	6983	スペイン語
ET	6984	エストニア語
EU	6985	バスク語
FA	7065	ペルシャ語
FI	7073	フィンランド語
FJ	7074	フィジー語
FO	7079	フェロー語
FR	7082	フランス語
FY	7089	フリジア語
GA	7165	アイルランド語
GD	7168	スコットランドゲール語
GL	7176	ガルシア語
GN	7178	グアラニ語
GU	7185	グジャラート語
HA	7265	ハウサ語
HI	7273	ヒンディー語
HR	7282	クロアチア語
HU	7285	ハンガリー語
HY	7289	アルメニア語
IA	7365	国際語

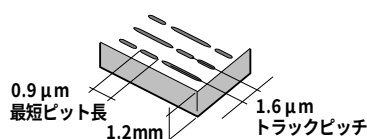
記号	コード	言語
IE	7369	国際語
IK	7375	Inupiak語
IN	7378	インドネシア語
IS	7383	アイスランド語
IT	7384	イタリア語
IW	7387	ヘブライ語
JA	7465	日本語
JI	7473	イディッシュ語
JW	7487	ジャワ語
KA	7565	グルジア語
KK	7575	カザフ語
KL	7576	グリーンランド語
KM	7577	カンボジア語
KN	7578	カンナダ語
KO	7579	韓国語
KS	7583	カシミール語
KU	7585	クルド語
KY	7589	キルギス語
LA	7665	ラテン語
LN	7678	リンガラ語
LO	7679	ラオス語
LT	7684	リトアニア語
LV	7686	ラトビア語、レット語
MG	7771	マダガスカル語
MI	7773	マオリ語
MK	7775	マケドニア語
ML	7776	マラヤーラム語
MN	7778	モンゴル語
MO	7779	モルダビア語
MR	7782	マラータ語
MS	7783	マレー語
MT	7784	マルタ語
MY	7789	ミャンマー語
NA	7865	ナウル語
NE	7869	ネパール語
NL	7876	オランダ語
NO	7879	ノルウェー語
OC	7967	プロバンス語
OM	7977	(アフアン) オロモ語
OR	7982	オリヤー語
PA	8065	パンジャブ語
PL	8076	ポーランド語
PS	8083	パシュトー語
PT	8084	ポルトガル語
QU	8185	ケチュア語
RM	8277	ラエティ=ロマン語

記号	コード	言語
RN	8278	キルンディ語
RO	8279	ルーマニア語
RU	8285	ロシア語
RW	8287	キニヤルワンダ語
SA	8365	サンスクリット語
SD	8368	シンド語
SG	8371	サンゴ語
SH	8372	セルビアクロアチア語
SI	8373	シンハラ語
SK	8375	スロバキア語
SL	8376	スロベニア語
SM	8377	サモア語
SN	8378	ショナ語
SO	8379	ソマリ語
SQ	8381	アルバニア語
SR	8382	セルビア語
SS	8383	シスワティ語
ST	8384	セストゥ語
SU	8385	スندا語
SV	8386	スウェーデン語
SW	8387	スワヒリ語
TA	8465	タミール語
TE	8469	テルグ語
TG	8471	タジク語
TH	8472	タイ語
TI	8473	ティグリニャ語
TK	8475	トゥルクメン語
TL	8476	タガログ語
TN	8478	セツワナ語
TO	8479	トンガ語
TR	8482	トルコ語
TS	8483	ツォンガ語
TT	8484	タタール語
TW	8487	トウィ語
UK	8575	ウクライナ語
UR	8582	ウルドゥー語
UZ	8590	ウズベク語
VI	8673	ベトナム語
VO	8679	ボラビュク語
WO	8779	ウォロフ語
XH	8872	コーサ語
YO	8979	ヨルバ語
ZH	9072	中国語
ZU	9085	ズール語

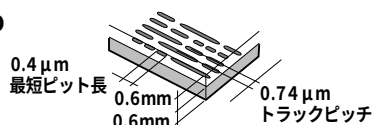
DVDについて

音楽CDやDVD等のディスクには、情報を記録するための溝（トラック）があります。そこに、0と1のデジタル情報を凹凸で表した細かいピットが作られ、それをレーザー光で読み取り再生します。DVDは、トラック間隔をCDの半分以下に狭め、ピットもより細かくして高密度でより多くの情報を記録させています。

CD



DVD



12cmのディスクに映画なら1本分、音楽なら約4時間を収録できます。

さらに水平解像度500本以上の高画質により透明感のある画質、鮮やかな色合いを再現します。また、別売りのデジタルオーディオプロセッサ（PXA-H900/PXA-H510/PXA-H700）と組み合わせることによりドルビーデジタル5.1chサラウンドで劇場の迫力と臨場感を再現することができます。

さらに、DVDディスクにはいろいろな機能があります。

●マルチ音声機能*（32ページ）

1本の映画の中に最大8つの言語を収録できます。リモコンのボタン操作でお好みの音声で再生することができます。

●サブタイトル（字幕）機能*（32ページ）

映画の字幕スーパーなら32カ国語まで収録できます。リモコンのボタン操作でお好みの字幕で再生することができます。

●マルチアングル機能*（32ページ）

複数のアングルで撮影された映像が記録されていれば、リモコンのボタン操作でお好みのアングル（角度）で再生することができます。

●マルチストーリー機能*

1本の映画の中にいくつものストーリーが入っていて、お好みのストーリーを選ぶことにより何通りものストーリーを楽しむことができます。

操作方法はディスクによって異なりますが、再生中にストーリー選択画面が表示されますので、画面の指示に従って操作してください。



* これらの機能は、ディスクによって収録されている音声言語、字幕、アングルなどが異なります。詳しくはディスクの説明書をご覧ください。

MP3について

注意：

個人で楽しむ以外は、オーディオデータ（MP3データ含む）を著作権者に無断で複製し、有料無料を問わず配布、転送、転載することは著作権法や国際協定で固く禁じられています。

MP3とは？

正式には「MPEG Audio Layer3」といい、国際標準化団体のISOとIECの共同活動機関であるMPEGが定めた圧縮規格です。

MP3は音声データを圧縮した音声ファイルで、サウンドデータを非常に高い圧縮率で圧縮することができます。

また、CDクオリティに近い音質を実現しても約1/10の圧縮率を得ることができます。

(サンプリング周波数44.1kHz、ビットレート128kbpsの場合)このような高圧縮率を実現しているMP3フォーマットは、人には聴き取れない音を消すことなどにより高圧縮を実現しています。

MP3へ圧縮する方法

市販やフリーウェアなどのMP3専用ソフトを使い圧縮します。詳しくは専用ソフトの説明書を参照願います。

また、本機で再生可能なMP3ファイルは、拡張子が“mp3”です。

再生可能なサンプリングレート・ビットレート

サンプリングレートは32kHz～48kHz、ビットレート32kbps～320kbpsです。

但し、「22,05kHz」などサンプリングレートによっては、本機のフレーム表示（16ページ）で正しく表示されない場合があります。

ID3タグについて

ID3 Tag v1に対応しています。

MP3ファイルにID3タグ情報が入っていれば、タイトル（曲名）、アーティスト名、アルバム名のID3タグ情報を表示できます。

本機で表示可能な文字は半角の英数、半角のカタカナ（表示できない場合もあります）、_（アンダーバー）のみです。

ひらがな/漢字には対応していません。

対応文字以外の場合、「NO SUPPORT」が表示されます。

MP3ディスクを作成するには

MP3ファイルを用意し、CD-Rライティングソフトを利用して、CD-R・CD-RWメディアに書き込みます。

ファイル/フォルダ数（Rootフォルダを含めて）は、合わせて255個までです。

対応メディア

再生できるメディアは、CD-ROM、CD-R、CD-RWです。

対応ファイルシステム

ISO9660レベル1、レベル2でフォーマットされたディスクに対応しています。

ISO9660規格では、フォルダのディレクトリ階層（最大8階層）やフォルダ/ファイル名の文字数（31文字 拡張子含む）、フォルダ/ファイル名で使用できる文字（A～Z、0～9、-（アンダスコア））などの制限があります。

また、JolietなどのISO9660準拠であれば、再生は可能です。但し、ファイル名/フォルダ名などは正しく表示されない場合があります。

対応フォーマット

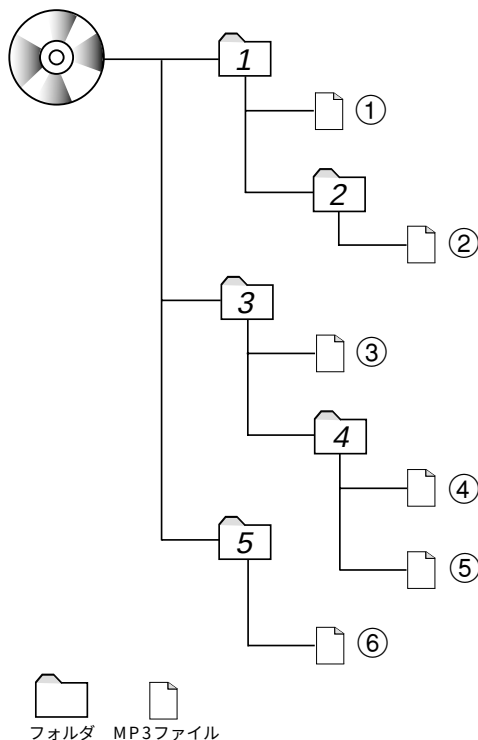
CD-ROM、CD-ROM XA、Mixed Mode CD、Enhanced CD (CD-Extra)、及びマルチセッションに対応しています。

但し、Track At Onceやパケットライトで作成されたCDの場合、正常に再生できません。

演奏される順番

演奏される順番はライティングソフトで書き込まれた順番になります。このため、記録しようとした順番と再生される順番が一致しないことがあります。

下図のようなフォルダ・ファイル階層のメディアでの演奏順は次の通りです。



用語説明

ビットレート

エンコードするときに指定する「音」の圧縮率で、ビットレートが高いほど高音質になるが、ファイルサイズも大きくなる。

サンプリングレート

データを1秒間に何回サンプリング（記録）するかを示す値のことで、たとえば、音楽CDは44.1kHzで、1秒間にデータを4万4100回サンプリング（記録）していることになります。高ければ高いほど音質は向上しますが、それだけデータ量も増えます。

エンコード

音楽CDやWAVEファイルなどの音声ファイルを、特定の音声圧縮フォーマットに変換すること。

ID3タグ

曲名やアルバム名、アーティスト名など、MP3ファイルに書き込まれた楽曲情報。

故障かな？と思ったら

操作ミスや勘違いを故障と間違えていませんか？

接続・配線は正しく行われていますか？

下の表をもう一度ご確認ください。

それでも直らないときは、お買い上げ店、またはお近くのお問い合わせ窓口（P58）にご相談ください。

● 操作中に停止したままになったり正常に動作しなくなった場合は、一度電源をOFF→ONしてください。それでも正常に動作しない時は、下表を参照して処置を行ってください。

共通部

動作しない。

ディスプレイに何も表示されない。

- ヒューズが切れている。
 - ・ 規定容量のヒューズと交換する。（→P47）
- 内部のマイコンが、ノイズなどの原因で誤動作してしまった。
 - ・ リセットスイッチをボールペンの先などで押す。（→P6）

電源が入る音がでない。

- 音量レベルが最小になっている。
 - ・ 音量レベルを上げる。（→P7）
- MUTEがONになっている。
 - ・ MUTEを解除する。（→P22）
- フェダーの設定が適切でない。
 - ・ 2スピーカーで聴くときは、スピーカーのバランスを前または後に設定する。（→P7）

警告ブザーが鳴る。

- ディスプレイが開ききった状態で約30秒経過した。
 - ・ 「▲」を押してディスプレイを閉める。（→P7）

記憶させた内容が消えてしまった。

- リセットスイッチを押した。電源コードまたはバッテリーをはずした。
 - ・ もう一度記憶する。（→P6, 14, 17）
- バッテリーコードの接続ミス。
 - ・ 接続を確認する。（→P47）

ディスプレイが暗い。

- 気温が低いときは、電源を入れた後、しばらく暗いことがある。
 - ・ しばらく待つ。

CD/MP3部/DVD/ビデオCD部

ディスクが入らない。

- すでに別のディスクが入っている。
 - ・ ディスクを取り出してから入れ直す。

演奏が始まらない。／音がとぶ。／音が歪む。／早送り/早戻しができない。

- 車内温度が50℃以上ある。
 - ・ 車内温度を常温まで下げてから、演奏させる。
- ディスクに傷が付いている。
 - ・ ディスクがひどく汚れている。
 - ・ 録音状態が良くない。
 - ・ 本機対応のディスクでない。
 - ・ 他のディスクを再生してみる。
- 結露している。
 - ・ しばらく放置してから使う。
- ビックアップレンズが汚れている。
 - ・ メンテナンスをする。（お問い合わせ窓口へ）（→P58）
 - ・ 市販のレンズクリーナーは、使用できません。

ディスクが勝手にイジェクトする。

- ディスクの側面/センターホールにバリがある。
 - ・ ボールペンなどで外側の縁をなぞって突起箇所を取り除く。



CD-R/CD-RWが再生できない。

- クローズセッション（ファイナライズ処理）を行っていない。
 - ・ クローズセッション（ファイナライズ処理）を行い、再度、試してみる。

MP3が演奏されない。

- 書き込みに失敗している／対応フォーマット以外で書き込まれている。
 - ・ 書き込みに失敗していないか確認する。または、「MP3について」を参照し本機対応のフォーマットで書き込みを行う。（→P54）

動作しない。

- モニター電源が入っていない。
 - ・ モニターの電源を入れる。
- 結露している。
 - ・ しばらく放置（1時間程度）してから使う。

映像が出ない。

- モニターのモードがご覧になりたいモードになっていない。
 - ・ ご覧になりたいモードに切りかえる。
- モニターのパーキング・ブレーキ・コードを接続していない。
 - ・ パーキング・ブレーキをかけていない。
 - ・ モニターのパーキング・ブレーキ・コードを接続し、パーキング・ブレーキをかける。
 - （詳しくはモニター側の説明書をご覧ください。）

再生が始まらない。

- ディスクを裏返しに入れている。
 - ・ ディスクを確認し、ラベル印刷面を上にして入れる。
- ディスクが汚れている。
 - ・ ディスクをきれいにする。
- 本機で再生できないディスクが入っている。
 - ・ 再生できるディスクを確認する。（→P4）
- 視聴制限がされている。
 - ・ 視聴制限を解除、または規制レベルを変更する。
- セットアップメニューが表示されている。
 - ・ リモコンのSETUPボタンを2秒以上押して、画面表示を消す。

映像が不鮮明になったり、雑音が入ったりする。

- 早送り/早戻しをした。
 - ・ 多少乱れることはありますが、故障ではありません。
- 車のバッテリー電源が低下している。
 - ・ バッテリー電源及び配線を確認する。
 - （負荷状態で1.1ボルトを下回ると誤作動の原因となります。）
- モニターの蛍光管が消耗している。
 - ・ モニターの蛍光管を交換する。

映像が時々止まる。

- ディスクにキズがある。
 - ・ キズのないディスクと交換する。

ラジオ部

受信できない。

雑音が入る。

- アンテナが接続されていない。
 - ・ アンテナが確実に接続されているか確認する。
- アンテナが伸びていない。
 - ・ アンテナを伸ばす。
 - ・ パワーアンテナ/ブースターコードが接続されているか確認する。
- 放送局の周波数が合っていない。
 - ・ 周波数を正しく合わせる。（→P14）
- 周りに障害物などがあり、受信状態が良くない。
 - ・ 見通しが良いところに移動する。
- アースコードが接続されていない、ゆるんでいる。
 - ・ アースコードが接続されているか確認する。または、接続場所を変更する。

自動的に放送局が選べない。

- 電波の弱い地域にいる。
 - ・ ディスタンスモードまたはマニュアルモードで受信する。（→P14）

メッセージが表れたら… (CD/MP3部)

NO DISC

- ディスクが入っていない。
 - ・ ディスクを入れる。
- ディスクは入っているが、「NO DISC」と表示され、演奏または、イジェクトができない。
 - ・ 次の方法でディスクを取り出す。
 - ①「▲」を押す。可動ディスプレイが開く。
 - ②可動ディスプレイが開いた状態で「▲」を3秒以上押す。

HI TEMP

- 車内温度が高すぎる。
 - ・ 車内温度を常温まで下げる。
 - ・ 本機の電源をOFFにし、温度が下がるまでしばらく待つ。その後再び電源をONさせる。

ERROR

- ディスク傷、ディスク汚れ。／録音状態が良くない。／本機対応のディスクでない。
 - ・ 「▲」を押して、ディスクを交換する。
- メカニズムエラー。
 - ・ ①「▲」を押して、ディスクを取り出す。イジェクトできないときは修理ご相談窓口へ。
 - ②ディスクを取り出してもエラー表示が消えない場合は、もう一度「▲」を押す。
 - ③何度押してもエラー表示が消えない場合は修理ご相談窓口へ。
- 車内温度が低すぎる。
 - ・ 車内温度を常温まで上げる。

NO TEXT

- テキストが入力されていない。
 - ・ CDテキスト対応のCDと交換する。

NO SUPPORT

- 本機（またはチェンジャー）で対応していない文字情報が入力されている。
 - ・ 本機で対応している文字情報が入力されたディスクを使用する。（本機では、「漢字」／「ひらがな」などは、表示されない。）

NO TAG

- MP3ファイルにID3タグ情報が入力されていない。
 - ・ ID3タグ情報が入力されているMP3ファイルを演奏する。

メッセージが表れたら… (チェンジャー部 (オプション))

NO MAGZINE

- マガジンがCDチェンジャーにセットされていない。
 - ・ マガジンをCDチェンジャーにセットする。

NO DISC

- ディスクが入っていない。
 - ・ ディスクを入れる。

HI TEMP

- 車内温度が高すぎる。
 - ・ 車内温度を常温まで下げる。

ERROR-01

- ディスクがマガジンに戻っていない。
 - ・ ①「▲」を押す。
 - ②空のマガジンを入れ、もう一度「▲」を押しディスクを回収する。
- メカニズムエラー。
 - ・ ①「▲」を押す。
 - ②表示が消えたら、ディスクを入れ直したマガジンを再度挿入する。
 - ③それでも復旧しない…修理ご相談窓口へ。

ERROR-02

- ディスクがマガジンに戻っていない。
 - ・ ①「▲」を押す。
 - ②空のマガジンを入れ、もう一度「▲」を押しディスクを回収する。

メッセージが表れたら… (DVD/ビデオCD部)

HI-TEMP

(モニターディスプレイ表示)

HI TEMP

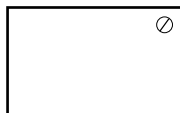
(オーディオディスプレイ表示)

- 車内温度が高すぎる。
 - ・ 車内温度を常温まで下げる。
 - ・ 本機の電源をOFFにし、温度が下がるまでしばらく待つ。その後再び電源をONさせる。

NO DISC

(オーディオディスプレイ表示)

- ディスクが入っていない。
 - ・ ディスクを入れる。
- ディスクは入っているが、「NO DISC」と表示され、演奏または、イジェクトができない。
 - ・ 次の方法でディスクを取り出す。
 - ①「▲」を押す。可動ディスプレイが開く。
 - ②可動ディスプレイが開いた状態で「▲」を3秒以上押す。



(モニターディスプレイ表示)

REGIONAL CODE VIOLATION

(モニターディスプレイ表示)

- リモコン操作を受け付けられない。
 - ・ ディスクまたは再生状態によっては、その操作を受け付けられない場合があります。故障ではありません。

- ディスクの地域コード番号が合っていない。
 - ・ 地域コード番号が対応しているディスクを入れる。（→P4）

ERROR

(オーディオディスプレイ表示)

VIDEO SIGNAL SYSTEM IS NOT CORRECT

(モニターディスプレイ表示)

- PAL対応のディスクを入れた。
 - ・ NTSC対応のディスクを入れる。

ERROR

(オーディオディスプレイ表示)

LOADING ERROR

EJECT ERROR

(モニターディスプレイ表示)

- メカニズムエラー。
 - ・ ①「▲」を押して、ディスクを取り出す。イジェクトできないときは修理ご相談窓口へ。
 - ②ディスクを取り出してもエラー表示が消えない場合は、もう一度「▲」を押す。
 - ③何度押してもエラー表示が消えない場合は修理ご相談窓口へ。

ERROR

(オーディオディスプレイ表示)

DISC ERROR

(モニターディスプレイ表示)

- ディスク傷、ディスク汚れ。／録音状態が良くない。／本機対応のディスクでない。
 - ・ 「▲」を押して、ディスクを交換する。

ERROR

(オーディオディスプレイ表示)

ERROR

(オーディオディスプレイ表示)

- 車内温度が低すぎる。
 - ・ 車内温度を常温まで上げる。

規格

チューナー部

受信周波数	AM ; 522~1,629kHz, FM ; 76.0~90.0MHz
実用感度	AM ; 22.5 μ V, FM ; 0.8 μ V (75 Ω) :9.3dBf (新IHF)
ステレオセパレーション	FM ; 45dB以上
SN比	FM ; 80dB以上
イメージ妨害比	FM ; 80dB以上
IF妨害比	FM ; 80dB以上

CD/DVD部

方式	光学式 (コンパクトディスク方式)
量子化ビット数	1ビット
チャンネル数	2チャンネル (ステレオ)
ダイナミックレンジ	95dB (1kHz) 以上
高周波歪率	0.008% (1kHz) 以下
チャンネルセパレーション	90dB (1kHz) 以上
ワウフラッター	測定限界以下
信号システム	NTSC
水平解像度	500本以上
画像出力レベル	1Vp-p (75 Ω)
画像SN比	DVD ; 70dB
音声SN比	115dB以上
周波数特性	5~20 KHz

リモコン部

使用電源	DC1.5V $\times$ 2 (UM-4)
外形寸法	56 (幅) $\times$ 142.5 (高さ) $\times$ 37 (奥行) mm
重量	72 g (電池は含まれない)

一般

使用電源	DC14.4V (動作範囲 ; 11~16V)
アース方式	⊖アース
音声出力レベル	プリアウト : 5V/10K Ω (最大) (フロント/リア) プリアウト : 4V/10K Ω (最大) (サブウーハー) AUX OUT:1.2V/10K Ω Ai-NET:850mV
外形寸法	178 (幅) $\times$ 50 (高さ) $\times$ 155 (奥行) mm
重量	2.0 kg

付属アンプ

最大出力	50W $\times$ 4
外形寸法	144 (幅) $\times$ 40 (高さ) $\times$ 100 (奥行) mm
重量	0.46 kg

- 製品の規格および外観は、改良のため予告なく変更する場合があります。
- 本説明書のイラストは、印刷条件により、印象が異なる場合があります。
- 本書の一部または全部を無断で転載しないでください。

保証について

保証書について

- この製品には保証書が添付されています。お買上げの際、お受け取りください。
- 必ず「販売店印・お買い上げ日」が記入されていることをご確認ください。
- 保証書は再発行できませんので、大切に保管してください。

アフターサービスについて

- **調子が悪いとき**
まず、この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。
- **それでも調子が悪いとき**
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。お買い上げ店、または58ページの「お問い合わせ窓口」にあるお近くの修理ご相談窓口にて、修理を依頼してください。

- **保証期間中の修理**
保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは、保証書をご覧ください。
- **保証期間経過後の修理**
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。
- **補修用性能部品**
製造打切り後、最低6年間保有しています。
- アフターサービスについての詳細、その他ご不明な点はお買い上げ店、または58ページの「お問い合わせ窓口」にお問い合わせください。
- 一部の付属部品は補修部品も用意しています。部品を無くしたり壊したりしたときは、お買い上げ店にお問い合わせください。

お問い合わせ窓口

(AV/NAVI/MD/3D)

(平成14年4月1日現在)

お問い合わせ窓口

- 製品に関するご相談／お問い合わせは、お買い上げ店または下記「製品ご相談窓口」をご利用ください。
- 修理に関するお問い合わせは、下記「修理ご相談窓口」をご利用ください。
- ご相談窓口の名称・電話番号・所在地は、変更になる場合があります。



製品ご相談窓口

インフォメーションセンター

・FAX：03-3494-1767 TEL：03-3779-0711
・電話受付時間 土日祝日を除く9:30～12:00 13:00～17:00

営業所・販社名	電話番号	住 所	担当都道府県
アルパイン マーケティング(株) 本部	03-5496-8231	〒141-0031 東京都品川区西五反田1丁目1番8号	
北海道エリア	札幌オフィス 011-621-4485	〒064-0821 北海道札幌市中央区北1条西22丁目2番1号 上野ビル	北海道全域
東北エリア	仙台オフィス 022-239-5331 郡山オフィス 024-925-3811 青森オフィス 017-762-3061	〒983-0043 宮城県仙台市宮城野区萩野町3丁目9番5号 〒963-8051 福島県郡山市富久山町八山田字土布池11番5号 〒030-0111 青森県青森市大字荒川字柴田191-2 旭日ビル202	宮城県/山形県/秋田県/岩手県 福島県 青森県
関信越エリア	高崎オフィス 027-361-5813 松本オフィス 0263-48-4772 宇都宮オフィス 028-610-8890 新潟オフィス 025-257-8680	〒370-0073 群馬県高崎市緑町3丁目16番6 〒390-0852 長野県松本市島立830番地の11 深澤ビル102号 〒321-0942 栃木県宇都宮市峰2-28-12 〒950-0852 新潟県新潟市石山1-3-6	群馬県 長野県/山梨県 栃木県 新潟県
東関東エリア	東関東オフィス 03-5666-5226	〒133-0061 東京都江戸川区篠崎町2-406-1	千代田区/中央区/江東区/墨田区/台東区/荒川区/文京区/江戸川区/足立区/千葉県/茨城県
首都圏エリア	東京オフィス 045-541-7261 神奈川オフィス 045-541-7261 埼玉オフィス 048-664-7701	〒223-0057 神奈川県横浜市港北区新羽町1767番地 アルプス電気横浜事業所内4F 〒223-0057 神奈川県横浜市港北区新羽町1767番地 アルプス電気横浜事業所内4F 〒331-0852 埼玉県さいたま市桜木町 3 丁目179番	東京都(千代田区/中央区/江東区/墨田区/台東区/荒川区/文京区/江戸川区/足立区以外) 神奈川県 埼玉県
中部圏エリア	中部オフィス 052-779-5655 静岡オフィス 054-283-0171 北陸オフィス 076-240-8111	〒465-0021 愛知県名古屋市中東区猪子石3丁目108 〒422-8032 静岡県静岡市有東 3 丁目9番1号 2F 〒921-8066 石川県金沢市矢木 3 丁目72番1号	愛知県/三重県/岐阜県 静岡県 石川県/富山県/福井県
近畿圏エリア	大阪北オフィス 06-6386-4136 大阪南オフィス 072-258-8111	〒564-0041 大阪府吹田市泉町3丁目18番14号 〒591-8023 大阪府堺市中区百舌鳥町4丁目57番地 サンライズ中百舌鳥103号	北大阪/滋賀県 南大阪/奈良県/和歌山県
中四国エリア	岡山オフィス 086-243-8257 広島オフィス 082-846-1175 高松オフィス 087-869-3086	〒700-0975 岡山県岡山市今 4 丁目5番2号 〒731-0138 広島県広島市安佐南区祇園2丁目11番16号 〒761-8071 香川県高松市伏石町1473-11	岡山県/島根県/鳥取県 広島県/山口県 徳島県/香川県/愛媛県
九州エリア	福岡オフィス 092-452-8871 長崎オフィス 095-727-1581 鹿児島オフィス 099-253-7215 熊本オフィス 096-213-7118	〒816-0093 福岡県福岡市博多区那珂 3 丁目23番2号 〒854-0074 長崎県諫早市山川町3の13 〒890-0034 鹿児島県鹿児島市市田上6丁目27番15号 〒862-0929 熊本県熊本市西原2-32-29	福岡県/大分県/佐賀県 長崎県 鹿児島県/宮崎県 熊本県
アルパイン京都販売(株)	075-351-6406	〒600-8480 京都府京都市下京区五条通堀川東入小泉町113番地の1	京都府
アルパイン兵庫販売(株)	0794-54-6123	〒675-0067 兵庫県加古川市加古川町河原133の1	兵庫県
アルパイン高知販売(株)	088-884-6800	〒780-8122 高知県高知市高須新町3丁目10番8号	高知県
(株)パルス	098-866-1916	〒900-0003 沖縄県那覇市安謝217番地 3	沖縄県

修理ご相談窓口

管轄エリア	問い合わせ窓口	電話番号	住 所	管轄エリア	問い合わせ窓口	電話番号	住 所
北海道 青森 岩手 秋田 山形 宮城 福島 栃木 茨城 群馬 東京 神奈川 埼玉 千葉 新潟 長野 山梨	アルパインカスタマーズ サービス(株) 東日本営業所	048-664-9711	〒330-0038 埼玉県さいたま市宮原町1-664	石川 滋賀 京都 大阪 和歌山 奈良 兵庫 岡山 鳥根 鳥取 広島 山口 香川 愛媛 徳島 高知 福岡 佐賀 大分 熊本 長崎 鹿児島 沖縄	アルパインカスタマーズ サービス(株) 西日本営業所	06-6386-4130	〒564-0041 大阪府吹田市泉町3丁目18番14号
静岡 愛知 三重 岐阜 福井 富山	アルパインカスタマーズ サービス(株) 西日本営業所	06-6386-4130	〒564-0041 大阪府吹田市泉町3丁目18番14号				



古紙配合率100%再生紙を使用しています